

10月5日(水) センチュリーホール 午後

S20. 若手学術奨励賞記念講演・日本地震学会論文賞授賞式

(講演時間 20 分・質疑応答 5 分)

座長 馬場俊孝

- 14:00 会長挨拶
- 14:05 S20-01* 短周期地震波動論に基づく新たな地下構造および震源過程モニタリング手法の開発
澤崎郁 (防災科研)
- 14:30 S20-02* 断層力学・モデリングに基づく震源過程の多面的研究
三井雄太 (静大理)
- 14:55 S20-03* 被害地震の震源過程と広帯域地震波放射特性の解明
鈴木亘 (防災科研)
- 15:20 日本地震学会論文賞授賞式

10月5日(水) A会場 午前

S15. 強震動・地震災害

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 石井透・額額一起・岩城麻子・笈楽磨

- 9:30 S15-01 全国地震動予測地図 2016 年版
石井透・中村雅基 (文科省)・恒川裕史 (元文科省)・藤原広行・森川信之 (防災科研)
- 9:45 S15-02 想定相模トラフ地震による長周期地震動予測地図 (試作版)
藤井中・中村雅基 (文科省地震本部)・恒川裕史 (元文科省地震本部)
前田宜浩・岩城麻子・森川信之・藤原広行 (防災科研)
- 10:00 S15-03 熊本地震を踏まえた強震動評価の課題 (その1)
森川信之・藤原広行・岩城麻子・前田宜浩 (防災科研)
- 10:15 S15-04 熊本地震を踏まえた強震動評価の課題 (その2)
藤原広行・森川信之・岩城麻子・前田宜浩 (防災科研)
- 10:30 S15-05 日本国内の内陸地殻内地震の震源パラメータのスケーリング則の検証
— 2016 年熊本地震 (Mj7.3) への適用—
入倉孝次郎 (愛工大)・宮腰研・吉田邦一 (地盤研)・釜江克宏 (京大原子炉)
- 10:45 S15-06 「震源断層を特定した地震の強震動予測手法」と熊本地震
額額一起 (東大地震研)
- 11:00 休憩
- 11:15 S15-07 内陸地殻内地震の広帯域地震動予測手法 (レシピ) の検証と SCEC Broadband Platform への実装
岩城麻子・前田宜浩・森川信之 (防災科研)・三宅弘恵 (東大)・藤原広行 (防災科研)
- 11:30 S15-08 地震動シミュレーションデータのビッグデータ分析
前田宜浩・藤原広行 (防災科研)
- 11:45 S15-09 震源近傍における強震動予測に適用可能なすべり時間関数に関する検討
田中信也 (東電設計)・引間和人 (東京電力)・久田嘉章 (工学院大学)

*は招待講演

- 12:00 S15-10 地表・地中斷層の震源ごく近傍の地震動の比較：逆断層を対象とした動力学的断層モデルに基づく検討
加藤研一・大塚康弘 (小堀鐸二研)・植竹富一・引間和人 (東電)
- 12:15 S15-11 地震規模 M と震度 I のスケーリングの検討
中村亮一・酒井慎一・平田直 (東大地震研)・石辺岳男 (地震予知振興会)
パナヨトプロスヤニス・佐竹健治 (東大地震研)
- 12:30 S15-12 スラブ内地震とプレート境界地震による強震動と震源深さ
筧楽磨 (神戸大・理)
- 12:45 S15-13 2016 年 4 月 1 日三重県南東沖の地震 (Mj 6.5) の長周期地震動に対する南海トラフ付加体の効果
郭雨佳・額額一起 (東大地震研)・三宅弘恵 (東大情報学環 / 地震研)

A 会場 午後

S15. 強震動・地震災害

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 上林宏敏

- 15:45 S15-14 和歌山平野の地下速度構造推定と MTL による強震動予測 (その 1 地下構造モデルの構築)
上林宏敏・釜江克宏 (京大原子炉)・大堀道広 (福井大)
山田浩二 (阪神コンサル)・川辺秀憲 (阪大工)・岩田知孝 (京大防災研)
- 16:00 S15-15 和歌山平野の地下速度構造推定と MTL による強震動予測 (その 2 強震動の予測結果)
大堀道広 (福井大)・川辺秀憲 (阪大工)・上林宏敏・釜江克宏 (京大原子炉)
山田浩二 (阪神コンサル)・岩田知孝・関口春子・浅野公之 (京大防災研)
- 16:15 S15-16 震源過程推定のための波形インバージョンに経験的グリーン関数を用いることのメリットとデメリット
野津厚 (港空研)
- 16:30 S15-17 1923 年大正関東地震の震度分布に対する本震直後の M7 クラスの余震の影響
神田克久 (小堀鐸二研)・武村雅之 (名大減災セ)

10 月 5 日 (水) B 会場 午前

S09. 地震活動

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 高橋浩晃・中村衛・西川友章・石辺岳男

- 9:30 S09-01 三重県南東沖の地震 (M6.1) に続く群発地震活動の統計解析
熊澤貴雄 (統数研)・尾形良彦 (統数研・東大地震研)・加藤愛太郎・鶴岡弘 (東大地震研)
- 9:45 S09-02 鉛直面状に分布する 2016 年 4 月 1 日三重県南東沖の地震の余震
ヤノトモコエリザベス・松原誠 (防災科研)
- 10:00 S09-03 日本列島における深部低周波地震の発生状況 (2)
高橋浩晃 (北大理)・宮村淳一 (気象庁)・椎名高裕 (北大理)
- 10:15 S09-04 琉球海溝の超低周波地震に伴って起こる低周波地震の分布
中村衛 (琉球大理)

- 10:30 S09-05 The distribution of very low frequency earthquakes, and its relation to slow slip events along the Ryukyu trench
#Yoko Tu · Kosuke Heki (Hokkaido Univ.) · Masataka Ando (Shizuoka Univ.)
Hiroyuki Kumagai · Yoshiko Yamanaka (Nagoya Univ.)
- 10:45 S09-06 2011 年東北地方太平洋沖地震発生前の沈み込み帯浅部で発生する micro Low-Frequency Tremor
片上智史 (京大院理) · 伊藤喜宏 · 太田和晃 (京大防災研)
日野亮太 · 鈴木秀市 (東北大理) · 篠原雅尚 (東大地震研)
- 11:00 休憩
- 11:15 S09-07 2011 年長野県北部の地震 (Mw 6.2) の核形成過程
下條賢梧 (筑波大学) · Bogdan Enescu (京都大学) · 八木勇治 (筑波大学) · 武田哲也 (防災科研)
- 11:30 S09-08 地震活動から示唆される M7 級茨城県沖地震震源域内での繰り返しスロースリップと震源核形成
西川友章 · 井出哲 (東大理)
- 11:45 S09-09 地球を周回してきた巨大表面波によるダイナミック・トリガーリングの可能性
川崎一郎 · 石井紘 · 浅井康広 (東濃地震科学研) · 西村卓也 (京大防災研)
- 12:00 S09-10 Remote triggering of seismicity at Japanese volcanoes following the 2016 M7.3 Kumamoto earthquake
#Bogdan Enescu (Kyoto University)
Kengo Shimojo · Anca Opris · Yuji Yagi (University of Tsukuba)
- 12:15 S09-11 3 つの沈み込み帯巨大地震によるクーロン応力変化と地震活動変化との相関性の検証
石辺岳男 (地震予知振興会) · 尾形良彦 (東大地震研 · 統数研) · 鶴岡弘 · 佐竹健治 (東大地震研)
- 12:30 S09-12 なぜ超巨大地震は潮汐でトリガされるようにみえるのか?
潮汐による b 値変化の可能性
井出哲 · 矢部優 (東大理) · 田中愛幸 (東大地震研)
- 12:45 S09-13 2016 年エクアドル地震とエクアドル・コロンビア沈み込み帯における破壊様式
熊谷博之 · 吉本昌弘 (名大環境) · Wilson Acero · Gabliera Ponce
Freddy V_scone · Santiago Arrais · Mario Ruiz · Alexandra Alvarado (エクアドル地球物理研究所)
Patricia Pedraza Garc_a · Viviana Dionicio · Orland Chamorro (コロンビア地質調査所)
前田裕太 (名大環境) · 中野優 (JAMSTEC)

B 会場 午後

S09. 地震活動

(講演時間 12 分 · 質疑応答 3 分)

座長 岡田知己 · 内出崇彦

- 15:45 S09-14 2011 年東北地方太平洋沖地震後の火山性地震と噴火活動の変化
西村太志 (東北大理)
- 16:00 S09-15 稠密地震観測で求めた、東北沖地震後の内陸誘発地震のメカニズム解
岡田知己 · 中山貴史 · 平原聡 · 堀修一郎 · 佐藤俊也 · 松澤暢 · 長谷川昭 (東北大 · 理)
吉田圭佑 (防災科研) · 2011 年東北地方太平洋沖地震合同余震観測グループ
- 16:15 S09-16 発震機構解と震源分布を用いた断層面形状の検出
内出崇彦 · 今西和俊 (産総研)
- 16:30 S09-17 前震識別モデルによる 2016 年熊本地震の本震確率予測
野村俊一 (東工大情報理工) · 尾形良彦 (統数研)

10月5日(水) C会場 午前

S10. 活断層・歴史地震

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 加納靖之・今井健太郎・内田康人・渡辺満久

- 9:30 S10-01 関東大震災と土砂災害―神奈川県下の慰霊碑・記念碑から―
武村雅之 (名古屋大学)
- 9:45 S10-02 近世歴史地震の系統的検討結果 (第2集報)
松浦律子 (ADEP)・中村操 (防災情報サービス)
- 10:00 S10-03 地震年表や史料集における年月日の取り違い
加納靖之 (京大防災研)
- 10:15 S10-04 1707年宝永地震による駿河湾沿岸域の地震動―宝永地震・宝永噴火を記した富士浅間本宮旧蔵原史料の発見と諸史料との比較―
服部健太郎・中西一郎 (京大理)
- 10:30 S10-05 和歌山県由良および徳島県穴喰の事例に基づいた江戸後期の家屋流出被害関数に関する検討
今井健太郎 (JAMSTEC)・行谷佑一 (産総研)
- 10:45 S10-06 活断層型地震のスケーリング式の検討
横田崇 (内閣府・愛工大)・根本信・後藤真希枝 (応用地質)・池田雅也・高田幸司 (内閣府)
- 11:00 休憩
- 11:15 S10-07 神城断層における地震すべり由来非晶質微粒子の生成
山下純子・朝山暁・廣野哲朗 (阪大理)
- 11:30 S10-08 音響調査による屈斜路湖の湖底地形・堆積構造と内陸型地震との関連について
内田康人・岡崎紀俊 (道総研地質研)・山崎新太郎 (北見工大)・高橋浩晃 (北大)
- 11:45 S10-09 角田山東縁断層海域延長部の活動性について
阿部信太郎 (産総研)・徳山英一 (高知大)・森宏 (信州大)
- 12:00 S10-10 変動地形学的特徴にもとづく立川断層存在の再確認
渡辺満久 (東洋大)・中田高・後藤秀昭 (広島大)
- 12:15 S10-11 三浦半島断層群主部の浅部から深部への連続性
田之口英史 (千葉大理)・森宏 (信州大理)・阿部信太郎 (産総研)
津村紀子 (千葉大理)・荒井良祐 (川崎地質)・青柳恭平 (電中研)
- 12:30 S10-12 丹那盆地でのP波反射法地震探査からみた北伊豆断層帯の浅部地下構造
木村治夫・青柳恭平 (電力中央研究所)
藤原明・野田克也・小池太郎 (ジオシス)・住田達哉 (産総研地調セ)
- 12:45 S10-13 Sub-mGal 重力探査による断層抽出：丹那盆地
住田達哉・渡邊史郎 (産総研地調セ)
木村治夫・青柳恭平・東丸直頌 (電中研)・岡田真介 (東北大災害研)

C 会場 午後

S08. 地震発生の物理

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 八木勇治・麻生尚文

- 15:45 S08-01 Hybrid back projection 法を用いた破壊伝播と断層パラメタの同時推定
八木勇治・(筑波大生環)・小松陽子 (気象庁)・深畑幸俊 (京大防災)
- 16:00 S08-02 Estimating High Frequency Energy Radiation of Large Earthquakes by Image Deconvolution Back-Projection
#Dun Wang (ERI/CUG)・Nozomu Takeuchi・Hitoshi Kawakatsu (ERI)・Jim Mori (DPRI)
- 16:15 S08-03 中規模地震に対する波形インバージョンにおけるモーメントテンソルと Directivity の同時推定
麻生尚文・黄信樺・Victor C. Tsai (カリフォルニア工科大)
- 16:30 S08-04 逐次相対モーメントテンソルインバージョンによる高精度メカニズム解推定
今西和俊・内出崇彦 (産総研)

10月5日(水) D会場 午前

S19. 地震一般・その他, S12. 岩石実験・地殻応力, S07. 地球及び惑星の深部構造と物性

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 坪井誠司・小村健太郎・竹内希・一瀬建日

S19. 地震一般・その他

- 9:30 S19-01 地球シミュレータで計算した 2016 年 1 月の朝鮮半島北部の事象による理論地震波形
坪井誠司・松本浩幸 (JAMSTEC)・M. Rozhkov (CTBTO)・B. Baker・J. Stachnik (ISTI)
- 9:45 S19-02 大地震前後の地震活動変化について
石川有三 (産総研活断層)
- 10:00 S19-03 グリーンランド地殻浅部の経年的地震波速度変化
豊国源知 (東北大予知セ)・竹中博士 (岡山大)・高木涼太 (東北大予知セ)
金尾政紀 (極地研)・坪井誠司 (JAMSTEC)・東野陽子 (文科省)

S12. 岩石実験・地殻応力

- 10:15 S12-01 地震時の断層における焼結現象およびその実験的再現
土野池直哉・中野友貴・廣野哲朗・近藤忠 (阪大理)
- 10:30 S12-02 巨大岩石の低速摩擦すべりで溶融するナノサイズ粉碎粒子
滝沢茂・福山英一・山下太・徐世慶 (防災科研)・溝口一生 (電中研)・川方裕則 (立命館大理工)
- 10:45 S12-03 過去の水圧破碎法による原位置地殻応力データの再解析の意義
小村健太郎 (防災科学技術研究所)
- 11:00 休憩

S07. 地球及び惑星の深部構造と物性

- 11:15 S07-01 地球深部科学における絶対圧力スケールの重要性
米田明 (岡山大)・福井宏之 (兵庫県立大)・鎌田誠司 (東北大)
- 11:30 S07-02 実体波エンベロープにあるアセスノフェアの高減衰性の証拠
竹内希 (東大地震研)

- 11:45 S07-03 Finite frequency effects on apparent S-wave splitting in the lowermost mantle
#Anselme F. E. Borgeaud · Robert J. Geller · Kawai Kenji (Univ. Tokyo)
Konishi Kensuke (Acad. Sinica, Taiwan)
- 12:00 S07-04 地震波形水平 2 成分を用いた北部太平洋下 D 領域の 3 次元 S 波速度構造推定
鈴木裕輝 · 河合研志 · ゲラーロバート (東大理) · 小西健介 (台湾中央研究院)
- 12:15 S07-05 深発地震の震源パラメータの再決定と波形インバージョンで推定した 3 次元内部構造への影響の見積もり
山谷里奈 · Anselme Borgeaud · 河合研志 · Robert Geller (東大理) · 小西健介 (中研院)
- 12:30 S07-06 広帯域アレイを用いた日本海下の上部マントル 3 次元 S 波速度構造
成田涼 · 浜田広太 · 吉澤和範 (北大理) · 川勝均 (東大地震研)
- 12:45 S07-07 広帯域海底地震観測記録を用いた太平洋上部マントル 3 次元 S 波速度構造
一瀬建日 · 塩原肇 (東大地震研) · 吉澤和範 (北大理)
杉岡裕子 (神戸大理) · 伊藤亜妃 · 末次大輔 (海洋研究開発機構)

D 会場 午後

S05. 地球熱学

(講演時間 12 分 · 質疑応答 3 分)

座長 木下正高

- 15:45 S05-01 南海付加体における地形効果を考慮した浅部温度構造の誤差評価
大出晃弘 (東大大海研) · 大塚宏徳 (東大地震研) · 喜岡新 · 芦寿一郎 (東大大海研)
- 16:00 S05-02 Slab dehydration, thermal regime, the distribution of tectonic tremors and seismicity beneath Hikurangi
#Yingfeng Ji · Shoichi Yoshioka (Kobe University)
- 16:15 S05-03 紀伊半島沖で得られている 3D 速度モデルから地下 3 次元間隙率 · 熱伝導率推定の試み
木下正高 (東大地震研) · Wu, Jyun-nai (台湾 NTU) · Nahar, S. Gurkirat (インド IITR)

10月6日(木) A 会場 午前

S21.2016 年熊本地震および関連する地殻活動

(講演時間 12 分 · 質疑応答 3 分)

座長 松本聡 · 遠田晋次 · 加藤愛太郎 · 澤崎郁

- 8:30 S21-01 2016 年熊本地震のテクトニックな意味: アムールプレート東縁変動帯の活動
石橋克彦 (神戸大名誉教授) · 三好崇之 · 原田智也 (東大地震研)
- 8:45 S21-02 2016 年熊本地震断層周辺の応力場とその変化
松本聡 (九大地震火山セ) · 山下裕亮 (京大防災研) · 中元真美 (九大地震火山セ)
宮崎真大 (京大防災研) · 酒井慎一 (東大地震研) · 飯尾能久 (京大防災研)
2016 年熊本地震合同地震観測グループ
- 9:00 S21-03 2016 年熊本地震震源域周辺の三次元地震波減衰構造
小松正直 · 小田仁 · 竹中博士 (岡山大)

- 9:15 S21-04 熊本地震にともなう二重峠地震帯の活動
中田高・後藤秀昭 (広島大)・田中圭 (地図センター)・池辺伸一郎 (阿蘇火山博物館)
隈元崇・松多信尚 (岡山大)・楳原京子 (山口大)・渡辺満久 (東洋大)
鈴木康弘 (名古屋大)・高田圭太 (復建 (株))
- 9:30 S21-05 平成 28 年熊本地震の地表地震断層の特徴とその意味—雁行配列の階層性と正・横ずれ断層の混在
遠田晋次 (東北大災害研)
- 9:45 S21-06 2016 年 Mw7.1 熊本地震に伴って出現した地表地震断層の構造特徴
林愛明・佐津川貴子 (京都大学)
- 10:00 S21-07 熊本地震の地震断層と活断層—提起された課題—
鈴木康弘 (名古屋大)・熊原康博・後藤秀昭・中田高 (広島大)・渡辺満久 (東洋大)
- 10:15 休憩
- 10:30 S21-08 熊本地震本震直前に現れた Stagnant MSTID
日置幸介 (北大理)・賀黎明 (中国・東北大+北大理)
- 10:45 S21-09 九州中部における前震の統計解析
前田憲二・弘瀬冬樹 (気象研)
- 11:00 S21-10 2016 年熊本地震の本震発生前に見られた前震の移動現象
加藤愛太郎・福田淳一・中川茂樹・小原一成 (東大地震研)
- 11:15 S21-11 2016 年熊本 M7.3 地震の確率予測
尾形良彦 (統計数理研, 東大地震研)
- 11:30 S21-12 Data completeness of the Kumamoto sequence in the JMA catalog and its influence to estimation of ETAS parameters
庄建倉 (統計数理研究所)
- 11:45 S21-13 New algorithm for searching earthquake clusters: Migration and expansion of aftershock clusters of the 2016 Kumamoto earthquake sequence
Wei Peng・Shinji Toda (Tohoku Univ.)
- 12:00 S21-14 本震に対する余震からの相対高周波エネルギー輻射量 -2016 年熊本地震の事例 -
澤崎郁 (防災科研)・中原恒 (東北大・理)・汐見勝彦 (防災科研)

A 会場 午後

S21.2016 年熊本地震および関連する地殻活動

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 中尾茂・宮澤理稔・中村武史・小林知勝

- 13:30 S21-15 平成 28 年熊本地震に対する PLUM 法・ハイブリッド法を用いた緊急地震速報のシミュレーション
小寺祐貴・干場充之 (気象研)・林元直樹・西前裕司 (気象庁)
- 13:45 S21-16 GEONET リアルタイム解析システム REGARD による平成 28 年熊本地震におけるリアルタイム断層推定
川元智司・檜山洋平・高松直史 (国土地理院)・太田雄策 (東北大理)・西村卓也 (京大防災研)
- 14:00 S21-17 2016 年熊本地震後の GNSS による余効変動の観測
中尾茂 (鹿大理工)・松島健 (九大理)・田部井隆雄・山品匡史 (高知大理)
大倉敬宏 (京大理)・西村卓也・澁谷拓郎・寺石真弘 (京大防災研)
伊藤武男・鷺谷威・松廣健二郎 (名大環境)・加藤照之・福田淳一・渡邊篤志 (東大地震研)
三浦哲・太田雄策・出町知嗣 (東北大理)・高橋浩晃・大園真子・山口照寛・岡田和見 (北大理)

14:15	S21-18	2016年熊本地震に伴う地下水変化 # 小泉尚嗣 (滋賀県大環境)・佐藤努・高橋浩・松本則夫 (産総研地質)
14:30	S21-19	全波動シミュレーションを用いた2016年 Mw7.0 熊本地震による大分県中部の地震の遠地誘発過程 # 宮澤理稔 (京大防災研)
14:45	S21-20	M7.3 熊本地震に伴う誘発地震：地震動即時予測の観点から # 干場充之・小木曾仁 (気象研)
15:00		休憩
15:15	S21-21	2016年熊本地震 (M7.3) の直後に発生した大分県中部の地震について # 吉田真吾 (東大地震研)
15:30	S21-22	2016年熊本地震時に大分県中部で発生した誘発地震の震源及びメカニズムの推定 # 中村武史・青井真 (防災科研)
15:45	S21-23	ABICを用いた InSAR データのインバージョン解析による熊本地震の滑り分布と断層傾斜角の同時推定 # 深畑幸俊・橋本学 (京大防災研)
16:00	S21-24	SAR 解析で捉えられた2016年熊本地震の前震の断層滑りの特徴 # 小林知勝 (国土地理院)
16:15	S21-25	ALOS-2/PALSAR-2 ピクセルオフセットデータによる2016年熊本地震に伴う地殻変動の検出と震源断層モデルの推定 # 姫松裕志・古屋正人 (北大理)
16:30	S21-26	熊本地震における内牧温泉域の水平移動の直接観測 # 辻健・石橋純一郎 (九大)・鎌田龍一 (地域資源開発)

10月6日 (木) B会場 午前

S09. 地震活動, S11. 地震に伴う諸現象, S06. 地殻構造

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 吉川澄夫・稲崎富士・飯高隆・小菅正裕・小平秀一

S09. 地震活動

8:30	S09-18	浜名湖周辺の長期的ゆっくり滑りの地震活動によるモニタリング # 吉川澄夫・林元直樹 (気象庁)・明田川保 (大阪管区気象台)
8:45	S09-19	南アフリカ Cooke 4 金鉱山地下 1km の切羽沿いに密集する微小破壊の空間分布詳細構造 # 山形直毅・直井誠 (京大)・中谷正生 (東大)・森谷祐一・大槻憲四郎 (東北大) Thabang Kgarume (CSIR)・Joachim Philipp (GMuG)・村上理 (東濃地震研) Thabang Masakale (OHMS)・Luiz Ribeiro (Seismogen)・矢部康男 (東北大) 川方裕則 (立命館大)・Anthony Ward (Seismogen)・石田毅 (京大) Ray Durrheim (CSIR, Wits 大)・小笠原宏 (立命館大)

S11. 地震に伴う諸現象

9:00	S11-01	地震に伴う発光現象を模擬した放電発光分光実験 # 榎本祐嗣・山辺典昭 (信州大)・奥村暢朗 (コンボン研)
9:15	S11-02	2011年東北地方太平洋沖地震による河川堤防・表層地盤の S 波速度構造の変化 # 稲崎富士 (土木研)

S06. 地殻構造

- 9:30 S06-01 2015年ネパール・ゴルカ地震 (Mw 7.8) 震源域中央部の稠密余震アレイ観測による余震分布と地殻構造
 # 蔵下英司・佐藤比呂志・酒井慎一・平田直 (東大地震研)・八木浩司 (山形大)
 Ananta Prasad Gajurel・Danda Pani Adhikari (トリブバン大)
 Krishna Subedi・Bishal Nath Upreti (NAST)
- 9:45 S06-02 チリ南部のトリプルジャンクション周辺の臨時観測データを用いた沈み込み帯の震源分布と異方性構造—東北地方との比較検討—
 # 飯高隆 (東大地震研)・岩森光 (海洋研究開発機構)・M. Miller・K. Bataille (Univ. of Conception)
- 10:00 S06-03 ニューゼalandアルパイン断層掘削地点とその周辺における地殻浅部S波異方性
 # 高木涼太・岡田知己 (東北大)・吉田圭佑 (防災科研)
 John Townend・Laura-May Baratin・Calum Chamberlain・Martha Savage (VUW)
 Carolin Boese (IESE)
- 10:15 休憩
- 10:30 S06-04 東北地方太平洋沖地震の誘発地震による秋田県北部のS波偏向異方性
 # 小菅正裕 (弘前大理工)
- 10:45 S06-05 地震探査が解き明かすプレート折れ曲り断層の地域差
 ～日本海溝域と千島海溝域の比較研究～
 # 藤江剛・小平秀一・佐藤壮・海宝由佳・高橋努・山下幹也
 山本揚二郎・尾鼻浩一郎・三浦誠一 (JAMSTEC)・山田知朗 (東大地震研)
- 11:00 S06-06 宮城沖日本海溝海溝軸周辺からアウターライズ域における太平洋プレートの地震波速度構造
 # 尾鼻浩一郎・藤江剛・小平秀一・高橋努・山本揚二郎・三浦誠一 (JAMSTEC)
 篠原雅尚 (東大地震研)
- 11:15 S06-07 次元可変なパラメータ空間でのコーダ波解析から推定した東北沖アウターライズ地域の散乱係数の空間変化
 # 高橋努・尾鼻浩一郎・小平秀一 (JAMSTEC)
- 11:30 S06-08 新たな日本海溝地震断層掘削に向けて：海溝－アウターライズでの地下構造調査
 # 小平秀一・中村恭之・藤江剛・尾鼻浩一郎・三浦誠一・富士原敏也 (JAMSTEC)
 氏家恒太郎 (筑波大学)・James Mori (京都大学)・森下知晃 (金沢大学)
- 11:45 S06-09 日本海佐渡島沖・東北日本弧—西南日本弧境界域の地震学的構造特徴
 # 佐藤壮・野徹雄・小平秀一・高橋成実・藤江剛・三浦誠一・金田義行 (JAMSTEC)
 加藤直子・蔵下英司・石山達也・佐藤比呂志 (東大地震研)・越谷信 (岩手大)
 豊島剛志 (新潟大)・石川正弘 (横国大)・戸田茂 (愛教大)・吉田武義 (東北大)
- 12:00 S06-10 Depth dependent crustal scattering attenuation revealed using single or few events in South Korea
 # Chung, Tae Woong・Asep Nur Rachman (Sejong Univ.)

B会場 午後

S06. 地殻構造, S17. 津波

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 汐見勝彦・白石和也・伊藤忍・鈴木亘

S06. 地殻構造

- 13:30 S06-11 沖合で発生する浅発地震に見られる初動発震機構解と MT 解の系統的な差異：沈み込むスラブの影響
武村俊介・汐見勝彦・木村武志・齊藤竜彦 (防災科研)
- 13:45 S06-12 地震波走時トモグラフィから推定された紀伊半島下のスラブ起源流体の特徴
澁谷拓郎 (京大防災研)・平原和朗 (京大理)
- 14:00 S06-13 瀬戸内海東部周辺下におけるフィリピン海プレート形状再検討
汐見勝彦 (防災科研)
- 14:15 S06-14 四国西部域の広域比抵抗構造
吉村令慧・山崎健一 (京大防災研)・小川康雄 (東工大火山流体)
中川潤・川崎慎吾・小松信太郎・米田格 (京大防災研)・大内悠平・岡崎智久 (京大理)
鈴木惇史・齋藤全史郎・白井嘉哉 (東工大大理)・寺石真弘 (京大防災研)
- 14:30 S06-15 南海トラフ孔内観測点で観測された背景雑振動記録を用いた地震波速度構造モニタリングの試み
木村俊則 (JAMSTEC)・三ヶ田均 (京都大学)・荒木英一郎 (JAMSTEC)・町田祐弥 (JAMSTEC)
- 14:45 S06-16 波動場モデリングおよび地震波干渉法に基づく海洋掘削科学のための地震探査データ統合解析
白石和也・モーキョー・山田泰広 (JAMSTEC)・木下正高 (東大地震研)
- 15:00 休憩
- 15:15 S06-17 地震波干渉法により検出した 2015 年 8 月 15 日桜島のダイク貫入に伴う地震波散乱特性の時空間変化
廣瀬郁・中原恒・西村太志 (東北大理)
- 15:30 S06-18 VERA 石垣島観測局における反射法地震探査
伊藤忍 (産総研)・山口和雄 (産総研)
- 15:45 S06-19 南西諸島域における島弧-海溝系の地震波速度構造
西澤あずさ・金田謙太郎・及川光弘・堀内大嗣・藤岡ゆかり・岡田千明 (海上保安庁海洋情報部)

S17. 津波

- 16:00 S17-01 長期評価に基づく相模トラフ沿いの確率論的津波ハザード評価
平田賢治・藤原広行・中村洋光・長田正樹・森川信之・河合伸一・大角恒雄・青井真
山本直孝 (防災科研)・松山尚典・遠山信彦・鬼頭直 (応用地質)
村田泰洋・井上拓也・齊藤龍・高山淳平 (国際航業)
秋山伸一・是永真理子・阿部雄太・橋本紀彦・袴田智哉 (CTC)
- 16:15 S17-02 千葉県九十九里・外房沿岸地域を対象とした津波遡上即時予測プロトタイプシステムの作成
山本直孝・青井真・鈴木亘・平田賢治・高橋成実・功刀卓・中村洋光 (防災科研)
- 16:30 S17-03 データベース検索型津波即時予測における沖合水圧時系列波形に基づく選別手法の検討
鈴木亘・青井真・山本直孝 (防災科研)

10月6日(木) C会場 午前

S08. 地震発生の物理

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 須田直樹・矢部優・河合研志・鈴木岳人

- 8:30 S08-05 東北沖地震前の地震活動長期静穏化とスロースリップイベント
勝俣啓 (北大・理)
- 8:45 S08-06 立体アレー観測から得られた東海地域深部低周波地震の深さ分布
鈴木貞臣 (東濃地震研)・大久保慎人 (高知大)・今西和俊・武田直人 (産総研)
- 9:00 S08-07 深部非火山性微動のバックプロジェクション解析
須田直樹 (広島大理)
- 9:15 S08-08 西南日本における遠地震による誘発微動の移動現象
栗原亮・小原一成・前田拓人・竹尾明子 (東大地震研)
- 9:30 S08-09 非排水性プレート境界と深部低周波地震
中島淳一 (東工大)・長谷川昭 (東北大)
- 9:45 S08-10 不均質線断層の滑り挙動遷移
矢部優・井出哲 (東大理)
- 10:00 S08-11 沈み込み帯を模した非一様 Burridge-Knopoff モデルによるスロースリップと高速破壊
川村光・山本真帆 (阪大理)
- 10:15 休憩
- 10:30 S08-12 羅臼地すべりに先行するスティックスリップ現象の検出
山田真澄・Jim Mori・松四雄騎 (京大防災研)
- 10:45 S08-13 リザダイト・タルクの摩擦に関する理論的研究
河合研志 (東大理)・佐久間博 (物材研)
- 11:00 S08-14 岩石接触面の摩耗を考慮した摩擦則の再考察
光井能麻 (中京大・工)・Ván Péter (ハンガリー科学アカデミー)
- 11:15 S08-15 滑り速度の二次の摩擦則及び粘性を持つ系における滑り端伝播速度と静摩擦力の振る舞い
鈴木岳人・松川宏 (青学大理工)
- 11:30 S08-16 Revisiting the slip-weakening friction: probe into the true source properties from off-fault measurements
Shiqing Xu・Eiichi Fukuyama・Futoshi Yamashita (NIED)
Kazuo Mizoguchi (CRIEPI)・Shigeru Takizawa (NIED)・Hironori Kawakata (Ritsumei. Univ.)
- 11:45 S08-17 Scaling Relation between Earthquake Magnitude and the Breakdown Time of P-wave Self-Similar Growth
Shunta Noda (RTRI)・William L. Ellsworth (Stanford Univ.)
- 12:00 S08-18 準動的な地震サイクル計算における数値積分法について
平原和朗 (京大理)

C 会場 午後

S08. 地震発生の物理

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 安藤亮輔・吉光奈奈・北佐枝子・山田卓司

- 13:30 S08-19 On Generation and Propagation of Three-Dimensional Rupture in Brittle Solids
#Koji Uenishi (Sch. Eng., Univ. Tokyo)
- 13:45 S08-20 2016 年熊本地震の 3 次元動的破壊シミュレーション：熱構造の効果
安藤亮輔 (東大理)・青木陽介 (東大地震研)・内出崇彦・今西和俊 (産総研)・松本聡 (九大)
- 14:00 S08-21 長野県西部地域における高分解能の応力場
飯尾能久・米田 格・澤田麻沙代・三浦勉・片尾浩 (京大防災研)
高田陽一郎 (北大)・小村健太郎 (防災科研)・堀内茂木 (ホームサイスマーター)
- 14:15 S08-22 紀伊半島北西部の複雑な微小地震活動とその原因
前田純伶・松澤暢 (東北大)・片尾浩 (京大防災研)・遠田晋次 (東北大災害研)
- 14:30 S08-23 An Active Experiment to Trigger Moderate Earthquakes
#James Mori (DPRI, Kyoto Univ.)
- 14:45 S08-24 Stress drop estimation of potentially induced earthquakes in Oklahoma
#Nana Yoshimitsu・William Ellsworth・Gregory Beroza (Stanford Univ.)
- 15:00 休憩
- 15:15 S08-25 大きな地震の前後に震源周りで発生する地震の時空間パターンを特徴づける一つの方法
宮本彩加・三井雄太 (静大理)
- 15:30 S08-26 伊豆の群発地震 (1997 年 3 月) 発生と M5.5 地震発生前の地震活動、歪・傾斜変動について
石井紘 (東濃地震研)
- 15:45 S08-27 2013 年米国 Wyoming 州の上部マントル地震 (深さ 75 km) について
趙大鵬・X. Wang (東北大学・理)
- 16:00 S08-28 東北日本下におけるスラブ内地震の応力降下量の深さ変化の特徴
北佐枝子 (広島大学)
- 16:15 S08-29 プレート境界における摩擦特性の空間不均質：中規模地震の応力降下量からの示唆
山田卓司 (茨大理)・齋藤悠 (北大理)・谷岡勇市郎 (北大地震火山セ)・河原純 (茨大理)
- 16:30 S08-30 沈み込みプレート境界の摩擦強度：理論的制約
松浦充宏 (統計数理研)・野田朱美 (構造計画研)

10 月 6 日 (木) D 会場 午前

S15. 強震動・地震災害, S02. 地震計測・処理システム

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 山田正太郎・堀内茂木・溜淵功史・篠原雅尚

S15. 強震動・地震災害

- 8:30 S15-18 震後復旧費用個人負担の地域格差
岡田成幸・中嶋唯貴 (北大工)
- 8:45 S15-19 2011 年東日本大震災に伴う人間被害 (8) 住家等の流失域に注目した死者の年齢区分別特性
太田裕 (東濃地震研)・小山真紀 (岐阜大流域研セ)・志垣智子 (高齢者住宅研)

- 9:00 S15-20 表層地盤の多次元非線形性を考慮した基盤上昇波推定法
野田利弘・山田正太郎 (名大)・浅岡顕・澤田義博 (地震予知振興会)
- 9:15 S15-21 液状化砂地盤のスパイク状加速度応答の数値解析
山田正太郎・野田利弘 (名大)・浅岡顕 (地震予知総合研究振興会)
- 9:30 S15-22 緊急地震速報によるエレベータ地震時管制運転の普及に向けて
鷹野澄 (東大情報学環 / 東大地震研)

S02. 地震計測・処理システム

- 9:45 S02-01 地震波検知手法の改良：kurtosis (尖度) を利用したリアルタイム P 波検知
石田寛史・山田真澄 (京大防災研)
- 10:00 S02-02 震度マグニチュードによる震度予測の高精度化
堀内茂木 (ホームサイスマ)・岡田由佳・三津橋歩 (ミサワ総合研)
青木亮 (ミサワホーム)・梶川久光 (明治大学理工)
- 10:15 休憩
- 10:30 S02-03 波形相関による自動震源の分類
溜淵功史 (気象研)
- 10:45 S02-04 光ファイバー網と DAS テクノロジーを使った地震・津波観測の可能性
木村恒久 (SFTC)
- 11:00 S02-05 南海トラフ孔内地震・地殻変動観測網の展開について
荒木英一郎・木村俊則・町田裕弥・横引貴史・西田周平 (JAMSTEC)
Demian Saffer (Penn. State U.)・Achim Kopf (Bremen U.)・Exp 365 Shipboard Scientists.
- 11:15 S02-06 三陸沖における新規海底光ケーブル式地震津波観測システムの設置
篠原雅尚・山田知朗・酒井慎一・塩原肇 (東大地震研)・金沢敏彦 (防災科研)
- 11:30 S02-07 日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) ～整備進捗と今後の予定～
望月将志・植平賢司・金沢敏彦・眞保敬・汐見勝彦・功刀卓・青井真
松本拓己・関口涉次・高橋成実 (防災科研)・篠原雅尚・山田知朗 (東大地震研)
- 11:45 S02-08 日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) のデータについて
植平賢司・望月将志・金沢敏彦・眞保敬・功刀卓・汐見勝彦・青井真・関口涉次
松本拓己・高橋成実・山本直孝 (防災科研)・篠原雅尚・山田知朗 (東大地震研)
- 12:00 S02-09 無人航空機から投下させる貫入プローブ (ペネトレータ) による観測システムの開発
石原吉明・田中智・白石浩章・白井慶・後藤健・早川雅彦・尾崎正伸
水野貴秀・山田和彦 (JAXA 宇宙研)・村上英記 (高知大)・山田竜平 (国立天文台 RISE)

D 会場 午後

S02. 地震計測・処理システム, S13. 地球化学・地下水, S03. 地殻変動・GNSS・重力

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 大竹和生・田中愛幸・大園真子・水藤尚

S02. 地震計測・処理システム

- 13:30 S02-10 地震に伴う地鳴り現象の解明に向けて—観測システムの開発—
大竹和生 (気象大学校)・根本泰雄 (桜美林大学)・関根秀太郎 (地震予知振興会)
松林弘智 (ANET)・酒井慎一 (東大地震研)
- 13:45 S02-11 超磁歪震源による地震波速度変化のモニタリング
國友孝洋・石井紘・浅井康広 (東濃地震研)

14:00 S02-12 南海トラフ C0010 A 孔内観測点に設置された孔内歪計の初期データ評価
 # 町田祐弥・荒木英一郎・木村俊則 (JAMSTEC)・Demian Saffer (Penn. State U.)
 Achim Kopf (Bremen U.)・Exp.365 Shipboard Scientists.

S13. 地球化学・地下水

14:15 S13-01 井戸密閉化による地下水位の地殻歪応答の改善
 # 北川有一・松本則夫 (産総研地質)

S03. 地殻変動・GNSS・重力

14:30 S03-01 重力で地震発生を捉える (2) —地震重力変化の理論波形を用いたデータ解析—
 # 木村将也・亀伸樹・綿田辰吾 (東大地震研)・大谷真紀子 (産総研)
 新谷昌人・今西祐一 (東大地震研)・安東正樹 (東大院物理)

14:45 S03-02 1996年から2011年のGNSSデータから明らかになった関東地方の2つの長期的なすべりイベント
 # 田中愛幸 (東大地震研)・矢部優・井出哲 (東大理)

15:00 休憩

15:15 S03-03 2003年十勝沖地震の余効変動のモデル化における粘弾性緩和の重要性
 # 伊東優治 (京大理)・西村卓也 (京大防災研)

15:30 S03-04 2004年釧路沖地震 (M7.1) の余効変動と地震活動の特徴 (2)
 # 青木千夏・高橋浩晃 (北大理)

15:45 S03-05 北東アジア地域における日本周辺の大地震に伴う長期余効変動の影響の推定
 # 大園真子・高橋浩晃 (北大理)・N. V. シェスタコフ (ロシア極東大・ロシア応用数学研)
 孟国杰 (中国地震局)・M. D. ゲラシメンコ (ロシア応用数学研)

16:00 S03-06 2011年東北地方太平洋沖地震の余効変動モデル
 # 水藤尚 (国土地理院)

16:15 S03-07 東北日本における弾性歪み収支
 # 鷺谷威 (名大減災)・Angela Meneses-Gutierrez (名大環境)

16:30 S03-08 Detailed Crustal Deformation in Northern Niigata-Kobe Tectonic Zone as Observed by Dense GPS Network
 # Angela Meneses-Gutierrez・Takeshi Sagiya (Nagoya Univ.)

10月7日 (金) A会場 午前

S21.2016年熊本地震および関連する地殻活動

(招待講演：講演時間16分・質疑応答4分，通常講演：講演時間12分・質疑応答3分)

座長 馬場俊孝・津野靖士

8:30 S21-27* ALOS-2のSARデータで捉えられた2016年熊本地震の地殻変動
 # 矢来博司・小林知勝・森下游・藤原智・中埜貴元 (国土地理院)

8:50 S21-28* 熊本地震から考える地震学会が社会に果たす役割
 # 山岡耕春 (名古屋大)

9:10 S21-29* 2016年熊本地震で発生した地震動と建物被害
 # 境有紀・汐満将史 (筑波大)・神野達夫 (九州大)

9:30 S21-30 2016年熊本地震の地表地震断層の近傍における建物被害調査 (その1)
 # 久田嘉章・金田惇平・寺本彩乃 (工学院大学)

*は招待講演

- 9:45 S21-31 2016年熊本地震の益城町郊外に生じた地表地震断層近傍における震動被害に関する考察
香川敬生・吉田昌平・上野太士 (鳥取大院工)
- 10:00 S21-32 常時微動に基づく熊本県益城町の浅部 S 波速度構造
長郁夫 (産総研)・ト部厚志 (新潟大)・中澤努・佐藤善輝 (産総研)
- 10:15 S21-33 平成 28 年熊本地震における前震の発生が本震時の人的被害へ与えた影響
中嶋唯貴・岡田成幸 (北海道大学)

A 会場 午後

S21.2016 年熊本地震および関連する地殻活動, S04. テクトニクス

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 浅野公之・福山英一・太田和晃・山崎雅

S21.2016 年熊本地震および関連する地殻活動

- 13:30 S21-34 2016 年熊本地震本震の震源過程と震源近傍地震動
浅野公之・岩田知孝 (京大防災研)
- 13:45 S21-35 2016 年熊本地震 (Mj7.3) の疑似点震源モデル
長坂陽介・野津厚 (港湾空港技術研究所)
- 14:00 S21-36 強震波形を用いた 2016 年熊本県熊本地方の地震の震源過程—近接する複数の震源断層モデル間の関係—
田中美穂・迫田浩司 (気象庁)
- 14:15 S21-37 2016 年熊本地震 (Mw7.1) の断層近傍変位と Dc
福山英一・鈴木亘 (防災科研)
- 14:30 S21-38 2016 年熊本地震初期破壊過程のイメージング
宇佐美貴政・小松正直・竹中博士 (岡山大)
- 14:45 S21-39 バックプロジェクション法及び KNET/KiKnet 記録から推定された 2016 年 4 月 16 日熊本地震の Super-shear 破壊過程
プリードネルソン (防災科学技術研究所)
- 15:00 休憩

S04. テクトニクス

- 15:15 S04-01 宮城県沖における海底地震計アレイ観測
太田和晃・伊藤喜宏 (京大防災研)・日野亮太・太田雄策・東龍介 (東北大理)
篠原雅尚・望月公廣 (東大地震研)・佐藤利典 (千葉大・理)・村井芳夫 (北大理)
- 15:30 S04-02 沈み込む海洋プレートの Bending-Unbending 遷移領域の力学モデル
篠島僚平・伊藤武男 (名大環境)
- 15:45 S04-03 粘弾性緩和は火山性地殻変動をどう特徴づけるのか?
山崎雅 (産総研)
- 16:00 S04-04 反射法地震探査データを用いた地震波減衰構造の推定法と火山岩地域への適用
鶴哲郎 (海洋大)・野徹雄・藤江剛 (海洋研究開発機構)
- 16:15 S04-05 東伊豆単成火山群のフライ法解析
高橋雅紀 (産総研地質情報)・高橋壮司 (茨城大院教育)

10月7日(金) B会場 午前

S18. 地震教育・地震学史, S01. 地震の理論・解析法

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 美澤綾子・名和一成

S18. 地震教育・地震学史

- 8:30 S18-01 地震教育および地震防災・減災教育向け新教材 SI-T 図 (仮称) 使用の提案
根本泰雄 (桜美林大自然)・畠山正恒 (聖光学院中高)
南島正重 (都立両国高附中)・伊東明彦 (宇都宮大教育)
- 8:45 S18-02 地震の教員向け教室の開催
美澤綾子 (県立静岡高)・根本泰雄 (桜美林大自然)・荒井賢一 (栄東高)
山野誠 (東大地震研)・南島正重 (都立両国高附中)・伊東明彦 (宇都宮大教育)
- 9:00 S18-03 地学オリンピックについて: 三重県で開催の国際大会
杉憲子 (共立女子大家政)・瀧上豊 (関東学園大経済)・久田健一郎 (筑波大生命環境)

S01. 地震の理論・解析法

- 9:15 S01-01 Rupture Process of the 2014 Orkney earthquake (ML5.5)
大久保慎人 (高知大理)・A. CICHOWICZ・D. Birch (CGS)
小笠原宏 (立命館大)・村上理 (東濃地震科研)
- 9:30 S01-02 P 波初動データに基づく応力テンソルの空間パターン推定
岩田貴樹 (常磐大学)
- 9:45 S01-03 地震計による重力観測点周辺の陸水モニタリングの試み
名和一成・伊藤忍 (産総研)・今西祐一 (東大地震研)・奥田隆 (名大)
田村良明・宮地竹史 (国立天文台)・大久保慎人 (高知大)・木村武志 (防災科研)
- 10:00 S01-04 Hi-net (2005-2011) データを用いた脈動実体波成分の系統的な解析
西田究 (東大地震研)・高木涼太 (東北大)
- 10:15 S01-05 アレイ解析によるマルチモード表面波の位相速度計測
松澤仁志・吉澤和範 (北大理)

B会場 午後

S01. 地震の理論・解析法, S16. 地盤構造・地盤震動

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 江本賢太郎・吉本和生・久保久彦・元木健太郎

S01. 地震の理論・解析法

- 13:30 S01-06 べき乗型スペクトルを持つランダム媒質におけるスカラー平面波の伝播: 差分法と改良マルコフ近似の比較
江本賢太郎・佐藤春夫 (東北大理)
- 13:45 S01-07 地殻構造のランダム不均質性による地震波の振幅のばらつき
吉本和生・小林学 (横浜市大)・武村俊介 (防災科研)
- 14:00 S01-08 火山における S 波の等方輻射: 拡散モデルに基づく解釈
森岡英恵・熊谷博之 (名大環境)・前田拓人 (東大地震研)

- 14:15 S01-09 天皇海山列における T-phase 反射波の数値シミュレーション
干畑まい・古村孝志・前田拓人 (東大地震研)
- 14:30 S01-10 有限断層面上での破壊伝搬様式が津波発生に与える影響
蓬田清 (北大理)

S16. 地盤構造・地盤震動

- 14:45 S16-01 3成分入力地震波動場に基づく、3次元非線形地盤応答解析法
飯田昌弘 (東大地震研)
- 15:00 休憩
- 15:15 S16-02 東京湾岸の長周期地震動 —三重県南東沖の地震 (M6.5) と駿河湾の地震 (M6.5) —
植竹富一 (東京電力HD)
- 15:30 S16-03 海底観測網 DONET1 の地盤震動特性の把握を目的とした S 波・コーダ波・常時微動の H/V スペクトル比の解析
久保久彦・鈴木亘・中村武史・木村武志・功刀卓・高橋成実・青井真 (防災科研)
- 15:45 S16-04 2016年熊本地震の断層極近傍と益城町宮園周辺における微動アレイ測定
元木健太郎・石田寛・安本宏・加藤研一 (小堀鐸二研究所)・高橋寿幸・古川拓人 (東京ソイル)
- 16:00 S16-05 微動 H/V スペクトル比の方位依存性から推測される小名浜地区における極表層地盤の不整形
松島信一 (京大防災研)・小阪宏之 (戸田建設)・小林冬芽 (京大工卒)・川瀬博 (京大防災研)
- 16:15 S16-06 2008年岩手・宮城内陸地震震源域を対象とした計測震度トモグラフィによる減衰の不均質分布の推定
笠松健太郎 (鹿島建設技術研究所)・加藤研一 (小堀鐸二研究所)・野尻揮一郎 (北海道電力)

10月7日 (金) C会場 午前

S17. 津波

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 前田拓人・高川智博

- 8:30 S17-04 DONET データを用いた津波増幅率による即時津波予測システムの高度化
高橋成実 (防災科研)・今井健太郎・末木健太郎・大林涼子・稲住孝富 (海洋機構)
石橋正信 (和歌山県)・馬場俊孝 (徳島大)・金田義行 (香川大)
- 8:45 S17-05 動力学的断層破壊シナリオによる地震波・津波記録の理論合成
齊藤竜彦・福山英一 (防災科研)
- 9:00 S17-06 海底水圧計データ同化による津波波高と海底地殻変動の即時的分離推定
前田拓人 (東大地震研)
- 9:15 S17-07 tFISH/EEW: 沖合津波観測と緊急地震速報に基づく津波予測アルゴリズムの開発とその性能評価
堀内明子・日野亮太・太田雄策 (東北大理)・加地正明 (エイソー)
越村俊一 (東北大災害研)・対馬弘晃 (気象研)
- 9:30 S17-08 地殻変位データを用いた震源インバージョンと断層すべり量の同時推定法とその精度
泉宮尊司 (新潟大工)・黒田耕平 (前新潟大学院)
- 9:45 S17-09 経験ベイズモデルによるアンサンブル津波浸水予測
高川智博 (港空研)
- 10:00 S17-10 2015年鳥島近海における火山性津波地震: 近地海底水圧計アレーによる波源解析
深尾良夫 (JAMSTEC)・杉岡裕子 (神戸大理)・伊藤垂紀 (JAMSTEC)
塩原肇・三反畑修・綿田辰吾・佐竹健治 (東大地震研)

- 10:15 S17-11 2015年鳥島近海における火山性津波地震：分散性を考慮した波線追跡
 # 三反畑修・綿田辰吾・佐竹健治（東大地震研）・深尾良夫（JAMSTEC）
 杉岡裕子（神戸大理）・伊藤亜妃（JAMSTEC）・塩原肇（東大地震研）

C 会場 午後

S17. 津波

（講演時間 12 分・質疑応答 3 分）

座長 谷岡勇市郎・Aditya Riadi Gusman・藤井雄士郎・吉本昌弘

- 13:30 S17-12 2011年東北津波におけるチリ反射波の2乗振幅偏差での検討
 # 阿部邦昭（なし）・岡田正実（なし）・林豊（気象研）
- 13:45 S17-13 W phase inversion and tsunami simulation for tsunami warning in Nicaragua
 Greyving Argüello (Ineter, Nicaragua.)・#Yuichiro Tanioka (Hokkaido Uni.)
 Aditya Gusman (ERI, Tokyo)・Yushiro Fujii (BRI, Tsukuba)
- 14:00 S17-14 Dynamic generation of surface gravity waves in the ocean by seismic surface waves during the 2011 Tohoku earthquake
 #Yifei Wu (ERI, Univ. Tokyo)・Mikhail. A. Nosov・Sergey V. Kolesov (Moscow State Univ.)
 Kenji Satake (ERI, Univ. Tokyo)
- 14:15 S17-15 Numerical simulation of tsunami forerunners recorded by DONET stations during the 2011 Tohoku Earthquake
 #Kirill Sementsov・Sergey Kolesov・Mikhail Nosov (MSU)
 Hiroyuki Matsumoto・Yoshiyuki Kaneda (JAMSTEC)
- 14:30 S17-16 Analysis of the tsunami from 2 March 2016 Wharton Basin strike-slip Mw 7.8 earthquake
 #Mohammad Heidarzadeh (PARI, Japan)・Tomoya Harada・Kenji Satake (ERI, Univ. of Tokyo)
 Takeo Ishibe (ADEP, Japan)・Aditya R. Gusman (ERI, Univ. of Tokyo)
 Tomohiro Takagawa (PARI, Japan)
- 14:45 S17-17 Joint inversion of teleseismic body waves and tsunami waveforms for the 2016 strike-slip earthquake in the Wharton basin
 #Aditya Riadi Gusman・Kenji Satake・Tomoya Harada (ERI, U. Tokyo)
- 15:00 休憩
- 15:15 S17-18 弾性地球と結合した津波波形を用いたインバージョンによる2006年11月と2007年1月千島列島沖地震のすべり分布
 # 藤井雄士郎（建築研）・堂山俊貴（東大地震研，現 九電工）
 佐竹健治・綿田辰吾・楠本聡（東大地震研）
- 15:30 S17-19 1906年Ecuador・Colombia巨大地震の地震および津波規模の再評価
 # 都筑基博（北大理）・小山順二（ひょうたん島奨学会）
 Aditya R. Gusman（東大地震研）・蓬田清（北大理）
- 15:45 S17-20 遠地津波波形から推定される1906年エクアドル・コロンビア地震の規模と波源域
 # 吉本昌弘・熊谷博之（名大環境）
- 16:00 S17-21 南相馬市井田川干拓地における津波イベント間の堆積環境変化
 # 楠本聡・五島朋子・佐竹健治（東大地震研）・須貝俊彦（東大新領域）
 米田穰・大森貴之・尾寄大真（東大総合研究博物館）
- 16:15 S17-22 静岡県沼津市における1854年安政東海地震津波の被害程度と浸水深との関係
 # 行谷佑一（産総研）・今井健太郎（海洋研究開発機構）

10月7日(金) D会場 午前

S03. 地殻変動・GNSS・重力
(講演時間 12分・質疑応答 3分)
座長 生田領野・飯沼卓史

- 8:30 S03-09 海中音速構造が海底地殻変動観測に与える影響
横田裕輔・石川直史 (海洋情報部)
- 8:45 S03-10 係留ブイを用いた GPS/A 海底地殻変動観測の精度評価と高度化
今野美冴・木戸元之・太田雄策 (東北大学)・高橋成実 (防災科研)
福田達也・越智寛 (JAMSTEC)・本荘千枝・日野亮太 (東北大学)
- 9:00 S03-11 GPS/A 観測によって捉えた 2011 年東北沖地震に伴う余効変動の時空間変化
富田史章・木戸元之・太田雄策・日野亮太 (東北大)・飯沼卓史 (JAMSTEC)
- 9:15 S03-12 1771 年八重山津波源域における海底地殻変動の観測
生田領野・安藤雅孝・宗林留美 (静岡大防災セ)・中村衛 (琉球大理)・香味建 (静岡大理)
- 9:30 S03-13 海底地殻変動観測から得られた南海トラフ浅部におけるプレート間固着の把握
安田健二・田所敬一・谷口颯汰・木村洋 (名大環境)・松廣健二郎 (名大全学技術セ)
- 9:45 S03-14 海陸測地観測データとブロック断層モデルを用いて推定した南海・相模トラフ沿いのプレート間カップリング分布
西村卓也 (京大防災研)
- 10:00 S03-15 海底水圧計記録に基づく 2016 年 4 月 1 日の三重県南東沖の地震の矩形断層モデル
飯沼卓史・今井健太郎・大林涼子・荒木英一郎・堀高峰・高橋成実 (JAMSTEC)
- 10:15 S03-16 海底圧力計を用いた房総沖スロースリップ域の上下変動の検出
佐藤利典・長谷川晟也・河野昭博 (千葉大)
塩原肇・八木健夫・山田知朗・篠原雅尚 (東大地震研)・碓氷典久 (気象研)

D会場 午後

S14. 地震予知・予測
(講演時間 12分・質疑応答 3分)
座長 井元政二郎・梅田康弘・吉田康宏・楠城一嘉

- 13:30 S14-01 巨大地震発生予測のための地殻活動評価の視点
堀高峰 (JAMSTEC)・金田義行 (JAMSTEC・香川大)・高橋成実・汐見勝彦 (防災科研)
- 13:45 S14-02 南紀における長期的水位・水温異常変化 - 南海トラフ巨大地震の準備過程が進行中か? -
佃為成 (元東大地震研)
- 14:00 S14-03 異常潮位の観測による南海地震の直前予知の可能性
中村不二夫 (土佐市宇佐町自主防災連絡協議会)
- 14:15 S14-04 1946 年南海地震の破壊域は紀伊半島東岸まで伸びていたのか?
梅田康弘・板場智史 (産総研活断層セ)
- 14:30 S14-05 Possible coupling of multiple pre-earthquake phenomena of the 2011 Tohoku earthquake (Mw9.0)
Peng Han・Jianchang Zhuang (ISM)・Katsumi Hattori (Chiba Univ.)
- 14:45 S14-06 M8 クラス関東地震発生確率とその不確定性
井元政二郎・森川信之・藤原広行 (防災科研)
- 15:00 休憩

- 15:15 S14-07 不確実性の大きなデータを用いた地震の発生可能性の評価方法の検討—千島海溝の地震を例に—
吉田康宏 (気象大学校)
- 15:30 S14-08 地震前に発生する直流電場の観測研究
筒井稔 (京産大)
- 15:45 S14-09 地震短期予知の効果的な普及に向けて
前原博 (地球システム財団)・園田恵一郎 (大市大)・櫻井春輔 (神戸大)
- 16:00 S14-10 2016年熊本地震に先行した地震活動
楠城一嘉 (静岡県大)・井筒潤 (中部大)・織原義明 (東京学芸大)・古瀬慶博 (東海大海洋研)
東郷翔帆・新田英智・岡田朋大・田中利佳・鴨川仁 (東京学芸大)・長尾年恭 (東海大海洋研)
- 16:15 S14-11 熊本市が公開する地下水位データにみる2016年熊本地震の先行現象に関する考察
織原義明・鴨川仁 (東京学芸大物理)・長尾年恭 (東海大海洋研)

10月5日(水) 17:00～18:30 ポスター会場 (イベントホール)

ポスターセッション

S02. 地震計測・処理システム, S07. 地球及び惑星の深部構造と物性, S09. 地震活動,
S10. 活断層・歴史地震, S12. 岩石実験・地殻応力, S15. 強震動・地震災害, S19.
地震一般・その他

S02. 地震計測・処理システム

- S02-P01 タイムリバーサル法による震源構造の解析と震源球
菊池年晃 (防衛大)
- S02-P02 特異スペクトル分析とベイズ推定を応用したP波初動開始時刻の自動推定
徳永旭将・白神隼人・行廣鎮 (九工大)・木村武志 (防災科研)
- S02-P03 ニューラルネットワークを用いた低SN比条件下における地震波検出法の開発
高橋馨子・松本裕也・孫哲・竹内達哉・金垂伊 (横浜市大)
- S02-P04 P波極性解析による震央方位の推定法の改良～日本周辺で発生した地震の解析結果～
大島光貴 (清水建設)
- S02-P05 Automated Determination of Magnitude and Source Extent of Large Earthquakes
Dun Wang (CUG/ERI)・Hitoshi Kawakatsu (ERI)・Jiancang Zhuang (ISM)・Jim Mori (DPRI)
Takuto Maeda (ERI)・Hiroshi Tsuruoka (ERI)・Xu Zhao (IGGCAS)
- S02-P06 速度構造の震源決定位置への影響について
勝間田明男 (気象研)
- S02-P07 3次元速度構造であらかじめ計算した走時データを使用した震源決定法 その3
関口渉次 (防災科研)
- S02-P08 The development of advanced algorithm used in data processing for seafloor geodetic observation
Yhsuan Chou・Keiichi Tadokoro (Nagoya Univ.)
- S02-P09 S-net および Hi-net 観測点を用いた仮想震源の震源決定シミュレーション
眞保敬・植平賢司・金沢敏彦・望月将志・藤本博己・野口伸一・功刀卓
汐見勝彦・青井真・関口渉次・松本拓己 (防災科研)・篠原雅尚・山田知朗 (東大地震研)
- S02-P10 単一の3成分海底地震計を用いたナガスクジラ鳴音の音源定位についての一考察
岩瀬良一 (JAMSTEC / CREST, JST)
- S02-P11 地震情報のリアルタイム表示と並列処理
古舘友通 (気象研)

- S02-P12 地震研究情報データ提供システム (J-SEIS) の開発 (2)
 # 坪井誠司・堀川博紀 (JAMSTEC)・高江洲盛史 (NME)
 末木健太郎・荒木英一郎・園田朗 (JAMSTEC)・高橋成美 (NIED)
- S02-P13 Current Status of Pilot stations of Thai Seismic Array (TSAR) and Preliminary Receiver Function Analysis
 #Sutthipong Noisagool (ERI)・S. Tanaka (JAMSTEC)・H. Kawakatsu (ERI)
 W. Siripunvaraporn・S. Boonchaisuku (Mahidol Univ.)・Y. Ishihara・T. Kim (JAMSTEC)
 K. Kawai (Univ.Tokyo)・N. Takeuchi・K. Miyakawa (ERI)
- S02-P14 STS-1 型地震計のフィードバック回路の更新 (その3)
 # 石原靖 (JAMSTEC)
- S02-P15 小天体内部構造探査のための能動型地震探査パッケージの開発と検討
 # 石原吉明 (JAXA 宇宙研)・川村太一 (IPGP)・辻健 (九州大)・小川和律 (神戸大)
 山田竜平 (国立天文台 RISE)・小林泰三 (福井大)・田中智 (JAXA 宇宙研)・MMX-SEIS 検討チーム

S07. 地球及び惑星の深部構造と物性

- S07-P01 DAC-GHz 音速測定法の開発
 # 米田明 (岡大惑星研)
- S07-P02 2次元円環状モデルを用いたスラブの挙動・形態に関する数値シミュレーション
 # 土田真愛・亀山真典 (愛媛大 GRC)
- S07-P03 表面波二点法解析による位相・振幅比データを用いた北米大陸下の3次元S波速度構造
 # 浜田広太・吉澤和範 (北大理)
- S07-P04 日本海大和海盆下の上部マントル構造
 # 中東和夫 (東京海洋大)・山下裕亮 (京大・防災)・山田知朗・望月公廣・塩原肇・篠原雅尚 (地震研)
- S07-P05 ScS-S 走時差の補正について
 # 田中聡 (JAMSTEC)

S09. 地震活動

- S09-P01 大地震後の地震活動の見通しに関する情報について
 # 榎原良介 (文部科学省)・橋本徹夫・中村浩二・鎌谷紀子・武田清史・石垣祐三・迫田浩司
 菅ノ又淳一・川合亜紀夫・森田裕貴・廣田伸之 (気象庁)・中村雅基・岩切一宏 (文部科学省)
- S09-P02 グローバルスケールでの重力の時間変化と背景地震活動度との関係
 # 三井雄太 (静大理)・山田京平 (元・静大理)
- S09-P03 DONET 波形による2016年4月1日三重県南東沖地震 (MJ6.5) とその余震の相対位置関係
 # 利根川貴志・中野優 (JAMSTEC)
- S09-P04 2016年4月1日三重県南東沖地震 (MJMA=6.5) の地震活動解析
 # 中野優・神谷眞一郎・鈴木健介・尾鼻浩一郎・山下幹也・利根川貴志・仲西理子
 堀高峰・小平秀一・荒木英一郎 (JAMSTEC)・高橋成実 (NIED, JAMSTEC)
- S09-P05 DONET を用いた南海・東南海地震の震源域近傍の地震活動
 # 鈴木健介・神谷眞一郎 (JAMSTEC)・高橋成実 (JAMSTEC・NIED)
- S09-P06 沈み込む海嶺に影響された南海トラフ東部の浅部超低周波地震分布
 # 藤垂希子・尾鼻浩一郎・荒木英一郎 (海洋研究開発機構)
- S09-P07 南西諸島北部の海溝軸付近で発生する浅部低周波微動について
 # 山下裕亮 (京大防災研)・八木原寛・平野舟一郎・小林励司・宮町宏樹・中尾茂・後藤和彦 (鹿児島大)
 馬越孝道 (長崎大)・内田和也・松島健・清水洋 (九大地震火山セ)・中東和夫 (東京海洋大)
 山田知朗・篠原雅尚 (東大地震研)
- S09-P08 南鳥島の広帯域地震観測データを使った震源位置の評価
 # 田中昌之・勝間田明男・弘瀬冬樹・藤田健一 (気象研)・石原靖 (JAMSTEC)・竹内希 (東大地震研)

- S09-P09 海底地震観測データから推定される房総沖フィリピン海プレート上面深度
伊藤亜妃 (JAMSTEC)・杉岡裕子 (神戸大理)・尾鼻浩一郎・中野優・山本揚二郎・末次大輔 (JAMSTEC)
中東和夫 (東京海洋大)・篠原雅尚 (ERI)・日野亮太 (東北大理)
- S09-P10 長期海底地震観測から得られた北海道・根室沖の大地震発生域周辺の地震活動
村井芳夫 (北大理)・日野亮太 (東北大理)・伊藤喜宏 (京大防災研)
鈴木秀市 (東北大理)・金田義行 (名大)・東龍介 (東北大理)
- S09-P11 南西諸島北部の海域及び島嶼域における地震観測によるプレート境界面形状の推定 (3)
八木原寛・平野舟一郎・小林励司・宮町宏樹・中尾茂・後藤和彦 (鹿児島大)・馬越孝道 (長崎大)
内田和也・松島健・清水洋 (九州大)・中東和夫 (東京海洋大)・山下裕亮 (京大防災研)
阿部英二・池澤賢志・諏訪祥士・山田知朗・篠原雅尚 (東大地震研)
- S09-P12 トルコ・マルマラ海における自然地震観測
山本揚二郎・高橋成実 (JAMSTEC)・Pinar Ali・Kalafat Dogan (ボガジチ大)・Citak Seekin (JAMSTEC)
Comoglu Mustafa・Polat Remzi・Turhan Fatih・Ogutcu Zafer・Suvarikli Murat・Cok Ozkan・Ozer Mehmet
Gurbuz Cemil・Tunc Suleyman (ボガジチ大)・Ozel Nurcan (CTBTO)・金田義行 (香川大)
- S09-P13 東日本で発生する中規模繰り返し地震の震源再決定
奥田貴・井出哲 (東大理)・内田直希 (東北大理)
- S09-P14 前震検出のための適切な基準の設定方法 ～ 2011年6月30日長野県中部M5.4の地震を例に
豊本大・川方裕則・平野史朗 (立命館大)・土井一生 (京大防災研)
- S09-P15 徳山ダムにおける微小地震観測 (第2報)
曾田英揮・佐藤信光・花田弘幸 (水資源機構)・三塚隆 (地質計測)・片尾浩 (京大防災研)
- S09-P16 AS-netによる青森県・北海道南西部の震源分布
野口科子・関根秀太郎・澤田義博・笠原敬司・佐々木俊二・田澤芳博・矢島浩・石田貴美子 (振興会)
- S09-P17 2016年6月16日に発生した函館市南茅部付近の地震 (M5.3) と余震活動
一柳昌義・高田真秀・高橋浩晃 (北大地震火山セ)
- S09-P18 気象庁地震カタログの改善—改善後の処理状況など—
高濱聡・廣田伸之・山田尚幸・鎌谷紀子・橋本徹夫 (気象庁)
- S09-P19 自動震源を活用した地震活動の統計的特徴即時把握の試み
溜瀧功史 (気象研)
- S09-P20 Source-Scanning-Algorithm法を用いた地震波励起源の推定
山本麦・森脇健 (気象庁)
- S09-P21 Hi-net自動処理震源を用いたリアルタイム余震確率予測
近江崇宏 (東大生産研)・尾形良彦 (統数研)・汐見勝彦 (防災科研)
Bogdan Enescu (京都大)・澤崎郁 (防災科研)・合原一幸 (東大生産研)
- S09-P22 時空間スムージングカーネル法を用いた平成28年熊本地震シーケンスの予測
大久保祐一・遠田晋次 (東北大)
- S09-P23 マグニチュード6.0以上を対象とした首都圏の地震発生予測モデルの条件探索
横井佐代子・鶴岡弘・平田直 (東大地震研)
- S09-P24 Focal Mechanisms and Seismicity in the Region of Induced Earthquakes of Song Tranh Dam, Vietnam
Quoc Cuong Nguyen・James Mori (DPRI, Kyoto Univ.)
- S09-P25 傾斜データに与える降水の影響
葛葉泰久・伊藤渚 (三重大生物資源)・木村武志 (防災科研)

S10. 活断層・歴史地震

- S10-P01 九十九里地域における1703年元禄関東地震津波の到達点の検討
村岸純・五島朋子・佐竹健治 (東大地震研)・矢田俊文 (新潟大)

- S10-P02 1707年宝永地震翌朝の余震について
小林昭夫・弘瀬冬樹（気象研）・堀川晴央（産総研）・平田賢治（防災科研）・中西一郎（京大理）
- S10-P03 安政東海地震による名古屋道徳前新田の津波被害
平井敬（名大環境）
- S10-P04 安政元年南海地震に伴って同年大晦日に発生した余震の震源域と規模
堀川晴央（産総研）・中西一郎（京大理）
- S10-P05 明治22年熊本地震を後世に伝えようとしていた資料
室谷智子（国立科学博物館）
- S10-P06 地震直後に行われたアンケート調査の再検討による1948年福井地震（M7.1）の震度分布
原田智也・佐竹健治・古村孝志（東大地震研）・室谷智子（国立科学博物館）
- S10-P07 房総半島南部における詳細DEMを用いた離水段丘群の地形連続性の再評価
小森純希（東大理）・宍倉正展（産総研）・安藤亮輔（東大理）
- S10-P08 中国地域の活断層の長期評価について
近藤久雄・高橋明日香・# 和田弘人（文科省）・地震調査委員会長期評価部会活断層分科会

S12. 岩石実験・地殻応力

- S12-P01 地震性断層滑りに伴う炭質物の有機化学的变化：昇温速度の影響の実験的考察
金木俊也・廣野哲朗・土野池直哉・近藤忠（大阪大）
- S12-P02 砂層地盤における弾性波高周波成分の透過実験
中山雅之・川方裕則・平野史朗（立命館大学）・土井一生（京大防災研）・高橋直樹（三井住友建設（株））

S15. 強震動・地震災害

- S15-P01 過去を起点とした確率論的地震動予測地図と歴史地震による最大震度地図の比較
近藤利明・額額一起（東大地震研）
- S15-P02 強震記録から求めた2016年熊本地震（Mj7.3）の運動学的震源モデル（その2）
吉田邦一・宮腰研・染井一寛（地域地盤環境研）
- S15-P03 九州の応力降下量から考察する別府一万年山断層帯の震源モデル化
三宅弘恵（東大）・吉見雅行（産総研）・安藤亮輔（東大）・竹村恵二（京大）
- S15-P04 2014年長野県北部の地震（Mj6.7）における広帯域地震動評価のための特性化震源モデル
倉橋奨・入倉孝次郎（愛工大）・宮腰研（地盤研）
- S15-P05 2014年長野県北部の地震（Mj6.7）の特性化震源モデルを用いた広帯域（0.1～20Hz）地震動評価
竹越美佳・高浜勉・松元康広（構造計画研究所）・宮腰研（地盤研）
- S15-P06 1847年善光寺地震の震源断層モデルの構築及び強震動シミュレーション
松島信一（京大防災研）・吾妻崇（産総研）・野澤貴（鹿島）・市村強（東大地震研）
- S15-P07 強震動記録に基づく2010年Darfield地震（Mw7.1）の特性化震源モデルの構築
松元康広・高浜勉（構造計画研）・入倉孝次郎（愛知工大）
- S15-P08 強震動生成領域におけるストレス・パラメータの深さ依存性に関する検討
宮腰研（地盤研）・入倉孝次郎（愛工大）・釜江克宏（京大原子炉）
- S15-P09 有限差分法を用いた地表及び潜在断層地震における地震波動伝播シミュレーション
吉田昌平・香川敬生・野口竜也（鳥取大院工）
- S15-P10 レプリカ交換モンテカルロ法を用いた首都圏地震動イメージング
加納将行・長尾大道・伊藤伸一（東大地震研）・石川大智（東大情報理工）
酒井慎一・中川茂樹・堀宗朗・平田直（東大地震研）
- S15-P11 マルチスケール波形インバージョンによる南海トラフ付加体の三次元速度構造の推定
郭雨佳・額額一起（東大地震研）

- S15-P12 実被害との対比に基づく木造建物の層剛性モデルの設定
飯山かほり・上野翔太・山崎義弘・# 盛川仁・坂田弘安・廣瀬壯一（東工大）・後藤浩之（京大）
- S15-P13 小規模高密度微動アレイ記録を用いた回転成分の推定
堀家正則（阪神コンサル）・羽田浩二（ニュージェック）
- S15-P14 Determination of Earthquake Magnitude for Early Warning from Time-Dependence of P-Wave Amplitudes
#Shunta Noda (RTRI)・William L. Ellsworth (Stanford Univ.)
- S15-P15 稍深発地震のためのオンサイト地震警報基準の検討
山村紀香・林能成（関西大社会安全）

S19. 地震一般・その他

- S19-P01 深発地震に見られる初動極性異常の「非対称」な分布について
堀貞喜（防災科研）
- S19-P02 長距離伝播水中音波記録でみる海底斜面効果
山田知朗（東大地震研）・ハララボスジオルジオス・ザンポーリマリオ（CTBTO）
ハーニーケビン（オアシス社）
- S19-P03 中国江蘇省東海深さ 5000m ボアホールにおける地震観測と研究
徐紀人・趙志新（中国地質科学院）・# 石川有三（産総研）・尾池和夫（京都造形芸術大）

10月6日（木）17:00～18:30 ポスター会場（イベントホール）

ポスターセッション

S03. 地殻変動・GNSS・重力, S06. 地殻構造, S08. 地震発生の物理,
S13. 地球化学・地下水, S17. 津波

S03. 地殻変動・GNSS・重力

- S03-P01 重力で地震発生を捉える (3) —重力変化と重力勾配変化の理論記象のモーメントテンソル表現—
木村将也・亀伸樹（東大地震研）
- S03-P02 3軸精密可動台を用いたキネマティック GNSS 測位精度評価
今野美冴・太田雄策（東北大院理）・木戸元之・本荘千枝（東北大災害研）
- S03-P03 全地球規模でのプレート運動速度のクラスタリングへの試み—角速度空間における定式化—
岡崎智久・高橋温志（京大理）
- S03-P04 海底観測によるヒ克蘭ギ沈み込み帯で発生するスロースリップイベントの検出
村本智也・伊藤喜宏（京大防災研）・稲津大祐（東京海洋大学）・日野亮太・鈴木秀市（東北大理）
Stuart Henrys・Stephen Bannister・Laura Wallace (GNS Science)
- S03-P05 Lithosphere-Asthenosphere Rheology Model based on Postseismic Deformation following the 2012 Indian Ocean Earthquake
#Cecep Pratama・Takeo Ito・Ryohei Sasajima (Nagoya Univ.)・Takao Tabei (Kochi Univ.)
- S03-P06 東北日本の巨大地震サイクルモデル：地学的—測地学的上下変動の矛盾について
橋間昭徳（東大地震研）・佐藤利典（千葉大理）
- S03-P07 東海地域の長期的ゆっくりすべりの推移
宮岡一樹（気象研）・木村久夫（気象庁）
- S03-P08 ひずみ計による長期的ゆっくりすべりの観測
木村久夫・舟越実（気象庁）・宮岡一樹（気象研）
- S03-P09 南海トラフ沿い長期的スロースリップの客観的検知
小林昭夫（気象研）・木村一洋（気象庁）

- S03-P10 2013年以降の南海トラフ沿いの非定常地殻変動
小沢慎三郎、矢来博司 (国土地理院)
- S03-P11 1944年及び1946年の南海トラフ地震の余効変動から推定した粘弾性構造
大間俊樹 (新日鉄)・# 伊藤武男 (名大環)
- S03-P12 四国地方の遷移領域における固着速度と微動発生レート
落唯史・武田直人 (産総研)
- S03-P13 傾斜・ひずみデータの統合解析による四国地域の短期的スロースリップイベントのすべり分布推定
木村武志 (防災科研)・板場智史 (産総研)・松澤孝紀・木村尚紀 (防災科研)
- S03-P14 箱根火山活動時のGNSS地殻変動とその圧力源モデルの推定
原田昌武・道家涼介・板寺一洋・里村幹夫 (温地研)
- S03-P15 ALOS-2/PALSAR-2データによる箱根火山2015年水蒸気噴火に伴う地殻変動
道家涼介・原田昌武・本多亮・行竹洋平・萬年一剛・竹中潤 (温地研)

S06. 地殻構造

- S06-P01 レシーバ関数解析から推定された日本列島の地殻・最上部マントル構造
五十嵐俊博・飯高隆 (東大地震研)
- S06-P02 陸海統合データを用いた海域下の地震波速度構造の推定に向けて
松原誠 (防災科研)
- S06-P03 北海道内浦湾下の地震波速度構造
椎名高裕・高橋浩晃 (北大理)
- S06-P04 東北地方におけるP波異方性トモグラフィ
山下慧・趙大鵬・豊国源知 (東北大学知セ)
- S06-P05 日本海溝軸近傍で得られた高分解能反射法データに対する重合後深度マイグレーションの適用
中村恭之・小平秀一・三浦誠一・山下幹也・藤江剛・尾鼻浩一郎 (JAMSTEC)
- S06-P06 エアガンー海底地震計探査による日本海溝アウターライズ東麓における海洋性地殻の構造
大友周平・東龍介・日野亮太 (東北大理)・藤江剛・小平秀一 (JAMSTEC)
- S06-P07 長岡地域における震源分布と速度構造 (その2)
関根秀太郎・澤田義博・笠原敬司・佐々木俊二・田澤芳博 (地震予知振興会)
- S06-P08 新潟ー神戸歪集中帯北東部の coda Q の空間分布から推定される歪集中帯の成因
道場正伸・平松良浩 (金沢大学)
- S06-P09 房総沖スロースリップイベント周辺域の速度構造
河野昭博・佐藤利典 (千葉大・理)・篠原雅尚・望月公廣・山田知朗 (東大地震研)
植平賢司・眞保敬 (防災科研)・町田祐弥 (JAMSTEC)・日野亮太・東龍介 (東北大・理)
- S06-P10 位相差スペクトルを用いて推定した異方性構造の特徴について
本多亮・行竹洋平 (温地研)・酒井慎一・森田裕一 (東大地震研)
- S06-P11 レシーバ関数のインバージョン解析から推定した富士山下のS波速度構造
木下佐和子 (産業技術総合研究所)・西田究・五十嵐俊博・青木陽介・武尾実 (東大地震研)
上田英樹 (防災科研)
- S06-P12 弾性波アクロスによるP波およびS波速度変化観測から推定される地下坑道閉鎖に伴う地下水とクラックの挙動
國友孝洋 (名大・東濃地震研)・山岡耕春・渡辺俊樹 (名大)・浅井康広・石井紘 (東濃地震研)
- S06-P13 PL波の観測される地域の推定
村上理・石井紘・浅井康広 (東濃地震研)
- S06-P14 地表散乱波に対する地震波干渉法解析を通じた稠密反射記録の再構築による地殻構造イメージング
阿部進 (石油資源開発(株))・清水英彦・東中基倫 (地球科学総合研)
岩崎貴哉・飯高隆・蔵下英司・佐藤比呂志 (東大地震研)

- S06-P15 地震波干渉法による 2006 年紀伊半島東部構造探査の再解析
岩崎貴哉・飯高隆・蔵下英司 (東大地震研)・阿部進 (石油資源開発)
横田健・東中基倫 (地球科学総合研)・片尾浩 (京大防災研)・仲西理子 (JAMSTEC)・金田義行 (香川大)
- S06-P16 山陰地方の下部地殻における 3 次元地震波速度構造
津田寛大・飯尾能久・澁谷拓郎 (京大防災研)
- S06-P17 四国沖フィリピン海プレートの構造不均質
仲西理子・山下幹也・山本揚二郎・藤江剛・三浦誠一・小平秀一 (JAMSTEC)・金田義行 (香川大)
- S06-P18 アクロスを用いた桜島での 2015 年 8 月 15 日マグマ貫入イベントに伴う伝達関数の変化
渡邊将史・山岡耕春・前田裕太・國友孝洋 (名大)・宮町宏樹・八木原寛 (鹿大)
生田領野 (静大)・為栗健・井口正人 (京大)・清水洋 (九大)
- S06-P19 沖縄トラフ北端部における地殻構造
岡田千明・西澤あずさ・金田謙太郎・及川光弘・堀内大嗣・藤岡ゆかり (海上保安庁海洋情報部)
- S06-P20 南西諸島の広帯域地震波形データを用いた S-wavevector レシーバ関数解析
村越匠 (防衛大)・竹中博士・小松正直 (岡山大)・山田伸之 (福岡教育大)
- S06-P21 オントンジャワ海台の V_p/V_s 構造
三浦誠一・藤江剛・白井太朗・野口直人・小平秀一 (JAMSTEC)・コフィン-ミラード (タスマニア大学)
カワグル-サイモン (Univ_PNG)・ヴェラヴ-ロナルド (MRA_PNG)
- S06-P22 The Lord Howe Rise: newly-acquired multi-channel and wide-angle seismic data to study an enigmatic continental ribbon
Flora Gallais・Shuichi Kodaira・Seiichi Miura・Gou Fujie・Yasuhiro Yamada・Saneatsu Saito
Kazuya Shiraiishi・Brian Boston・Yasuyuki Nakamura (JAMSTEC, Japan)
Ron Hackney・Scott Nichol・George Bernardel・C. Mitchell (Geoscience Australia, Canberra, Australia)
IODP 871-CCP Proponent Team・KR16-05 Scientists.

S08. 地震発生の物理

- S08-P01 2016 年 4 月 1 日三重県南東沖の地震の震源過程
小林励司 (鹿大理工)・荒木英一郎 (JAMSTEC)
- S08-P02 三重県南東沖の海溝軸付近で発生する低周波地震活動について
案浦理・橋本徹夫・鎌谷紀子 (気象庁地震火山部地震予知情報課)
- S08-P03 紀伊半島南東沖の地震 (2016 年 4 月 1 日, M6.5) が南海トラフ巨大地震に与える影響評価
弘瀬冬樹・前田憲二・藤田健一 (気象研)
- S08-P04 熊野海盆下の南海トラフ地震震源域のバリア領域仮説
兵藤守・堀高峰 (JAMSTEC)
- S08-P05 三陸沖から房総沖にかけての準動的な地震発生サイクルシミュレーション (その 2)
藤田健一・弘瀬冬樹・前田憲二 (気象研)
- S08-P06 2011 年東北地方太平洋沖地震の余効変動の物理モデル
福田淳一 (東大地震研)・Kaj M. Johnson (Indiana Univ.)
- S08-P07 潮汐を考慮した四国地域における短期的スロースリップイベントの数値シミュレーション
松澤孝紀 (防災科研)・田中愛幸 (東大地震研)・芝崎文一郎 (建築研)
- S08-P08 南海トラフ沈み込み帯におけるスロースリップイベント～歪計による分析～
菊地淳仁・井出哲 (東大理)・松本則夫 (産総研)
- S08-P09 西南日本下のプレート境界遷移領域における平均すべり速度の再推定
大工草見子・平松良浩 (金沢大)・松澤孝紀 (防災科研)
- S08-P10 浅部超低周波地震の CMT 解とその安定性
竹尾明子・前田拓人・小原一成 (東大地震研)

- S08-P11 地震・超低周波地震の長周期 / 短周期エネルギー比とその分布
浅野陽一・松澤孝紀 (防災科研)
- S08-P12 東北沖地震で誘発された山形 - 福島県境群発地震の震源域における応力降下量およびb値の時間変化と摩擦強度
吉田圭佑・齊藤竜彦・浅野陽一 (防災科研)・長谷川昭 (東北大予知セ)
- S08-P13 応力場の時間変化に基づく御獄火山のモニタリング
寺川寿子・山中佳子・前田裕太・堀川信一郎・松廣健二郎・奥田隆 (名大環境)
- S08-P14 2009年箱根群発地震における応力降下量の時空間分布と地震発生メカニズム
藤岡実悠・金亜伊 (横浜市大)・行竹洋平 (温地研)
- S08-P15 2011年に観測された黒部湖周辺における地殻構造変化と活発化した地震活動の関係
佐藤和悦・金亜伊 (横浜市大)・大見士朗 (京大防災研)
- S08-P16 Spatio-temporal foreshocks distribution of the 2011 Tohoku-Oki earthquake based on the OBS observation
Debebe Kifle Atnafu・Ryota Hino・Yusaku Ohta・Ryosuke Azuma (Tohoku Univ.)
Masanao Shinohara (ERI)・Yoshihiro Ito (DPRI)
- S08-P17 大型二軸摩擦実験において観察された前震の特徴
山下太・福山英一・徐世慶・(防災科研)・川方裕則 (立命館大)・溝口一生 (電中研)・滝沢茂 (防災科研)
- S08-P18 2次元動的破壊問題で必要となるXBIEM核関数の全導出
日下部哲也 (東大地震研)・亀伸樹 (東大地震研)

S13. 地球化学・地下水

- S13-P01 昭和南海地震の際の熊本県での温泉異常
加納靖之 (京大防災研)

S17. 津波

- S17-P01 1741年渡島大島の津波への簡易予測式の適用性について
中田健嗣・勝間田明男・小林昭夫 (気象研)
- S17-P02 1741年渡島大島山体崩壊に伴う津波
伊尾木圭衣 (産総研)・谷岡勇市郎 (北大)
川上源太郎・加瀬善洋・仁科健二・廣瀬巨・石丸聡 (道総研地質研)・柳澤英明 (東北学院大)
- S17-P03 北陸沖海域の活断層による日本海沿岸部の津波高
Aditya Riadi Gusman・佐竹健治 (東大地震研)・室谷智子 (国立科学博物館)・石辺岳男 (地震予知振興会)
- S17-P04 Tsunami inversion for sea surface displacement using far-field DART data of the 2011 Tohoku earthquake
Tungcheng Ho・Kenji Satake (ERI, Univ. of Tokyo)
- S17-P05 相模トラフ沿いで発生する地震による確率論的津波ハザード評価
阿部雄太・是永真理子・秋山伸一 (CTC)・松山尚典 (応用地質)
村田泰洋 (国際航業)・平田賢治・藤原広行 (防災科研)
- S17-P06 相模トラフを対象とした確率論的津波ハザード評価のための津波予測解析
齊藤龍 (国際航業)・鬼頭直 (応用地質)・橋本紀彦 (CTC)
村田泰洋・井上拓也・高山淳平・村嶋陽一 (国際航業)・松山尚典 (応用地質)
秋山伸一 (CTC)・中村洋光・平田賢治・藤原広行 (防災科研)
- S17-P07 南海トラフ巨大地震による津波の東京湾と相模湾における波形類似性
大石裕介 (富士通研)・古村孝志 (東大地震研)・今村文彦・山下啓 (東北大災害研)
菅原大助 (ふじのくに地球環境史ミュージアム)
- S17-P08 局所細分化適合格子を用いた津波シミュレーション
前田宜浩・青井真・岩城麻子 (防災科研)・早川俊彦 (三菱スペース・ソフトウェア)
- S17-P09 津波数値計算に基づく沖合から沿岸への津波高増幅率の周波数特性の推定
対馬弘晃 (気象研)

- S17-P10 津波ハザードステーション (仮称) の開発
中村洋光・藤原広行・大角恒雄・平田賢治・森川信之・河合伸一 (防災科研)
- S17-P11 津波避難完了率予測手法のための地域特性の抽出
高橋郁夫・# 藤原広行・中村洋光 (防災科研)・時実良典・小丸安史・若浦雅嗣・清水智 (応用 RMS)
早川讓 (応用地質)
- S17-P12 津波シミュレーション結果からの特徴抽出
山本剛靖 (気象研)

10月7日 (金) 10:45 ~ 12:15 ポスター会場 (イベントホール)

ポスターセッション

S01. 地震の理論・解析法, S04. テクトニクス, S14. 地震予知・予測, S16. 地盤構造・地盤震動,
S18. 地震教育・地震学史, S21. 2016年熊本地震および関連する地殻活動

S01. 地震の理論・解析法

- S01-P01 地震波速度変化に対するコーダ波のベクトル感度カーネルの定式化: 3次元1次等方散乱の場合
中原恒・江本賢太郎 (東北大・理)
- S01-P02 西南日本の地殻内における内部減衰と散乱減衰の推定 -3次元地震動シミュレーションによる検討 -
小林学 (横浜市大)・武村俊介 (防災科研)・吉本和生 (横浜市大)
- S01-P03 地震活動域の能動監視のための自然地震と規則的人工シグナルの分離
前田裕太・山岡耕春・渡辺俊樹 (名大)
- S01-P04 地震波干渉法と地震波勾配法による任意地点間のグリーン関数抽出: 数値実験による検証
前田拓人・西田究 (東大地震研)
- S01-P05 常時微動を用いた地震波干渉法によるスロースリップに伴う地震波速度変化の検出の試み
植村美優 (京大院理)・伊藤喜宏・太田和晃 (京大防災研)・日野亮太 (東北大理)・篠原雅尚 (東大地震研)
- S01-P06 ウェーブレット解析による火山下の深部低周波地震のスペクトル構造
鶴川元雄 (日大文理)
- S01-P07 リソスフェア内のランダム不均質性とみかけの鉛直異方性: 表面波位相速度への影響
吉澤和範 (北大理)

S04. テクトニクス

- S04-P01 海陸統合地震観測データから見る 2011年東北沖地震震源域における地震発生前後のb値の時空間変化
仲谷幸浩・望月公廣・篠原雅尚・山田知朗・塩原肇 (東大地震研)・日野亮太・東龍介 (東北大)
伊藤喜宏 (京大防災研)・村井芳夫 (北大)・佐藤利典 (千葉大)・植平賢司・眞保敬・平田賢治 (防災科研)
八木原寛 (鹿大)・小平秀一・尾鼻浩一郎・町田祐弥 (JAMSTEC)・対馬弘晃 (気象研)
- S04-P02 近地津波および遠地地震波による 2012年東北沖スラブ内地震 (Mw 7.2) の破壊過程
久保田達矢・日野亮太・太田雄策・鈴木秀市 (東北大理)・稲津大祐 (東大海洋ア)
- S04-P03 プレート境界断層の平均応力降下量を拘束条件とした 1703年元禄関東地震の滑り分布の推定: 海底面形状の効果
小森純希・安藤亮輔 (東大理)・宍倉正展 (産総研)
- S04-P04 沈み込み帯における流体の3次元的な移動によるスロースリップの空間変化
森重学 (京大地熱研)・Peter E. van Keken (カーネギー研究所)
- S04-P05 ダイク貫入に伴う Rift-parallel motion: 2005-2010年エチオピア・Afar
姫松裕志 (北大理)・古屋正人 (北大理)
- S04-P06 富士山、なぜそこにあるのか
橋場明 (個人)

S14. 地震予知・予測

- S14-P01 日本海溝地域における地震発生予測の試み—2011年東北地方太平洋沖地震前後で検証—
中田令子・兵藤守・堀高峰 (JAMSTEC)
- S14-P02 確率予測の採点式「拡張ブライアスコア」とその適用例
林豊 (気象研)
- S14-P03 最大瞬間風速からの地震予知 (11) —三重県南東沖地震の予知—
猿渡隆夫 (なし)
- S14-P04 AI が、前兆現象で地震を予知する
河野順一 (コモンブリッジ株式会社)

S16. 地盤構造・地盤震動

- S16-P01 関東堆積盆地における長周期地震動の震央方位特性
鍛冶川謙吾 (横浜市大)・武村俊介 (防災科研)・吉本和生 (横浜市大)
- S16-P02 関東平野南部における長周期地震動シミュレーション：東京湾とその周辺の3次元地盤構造モデルの検討
増田啓・鍛冶川謙吾・吉本和生 (横浜市大)・武村俊介 (防災科研)
- S16-P03 大崎市古川地区における2011年東北地方太平洋沖地震の本震記録を用いた地震動分布の簡易推定
盛川仁・飯山かほり (東工大土木)・後藤浩之 (京大防災研)
- S16-P04 東北地方太平洋沖地震および福島県浜通り地震による地震波速度の経年変化
磯野卓也 (茨大院・理工)・山田卓司・河原純 (茨大・理)
- S16-P05 2011年東北地方太平洋沖地震による宮城県内の地震波速度変化：Hi-net連続波形の自己相関による推定
沼澤雄也 (茨大院理工)・山田卓司・河原純 (茨大理)
- S16-P06 地震波干渉法による浅部地盤の平均 Q_s 値構造の推定
赤澤隆士 (地盤研究財団)・入倉孝次郎 (愛工大)
- S16-P07 二つの最尤法を用いた $f-k$ スペクトルによる水平成分位相速度の比較
土田琴世・堀家正則・伊藤信一 (阪神コンサルタンツ)・羽田浩二 (ニュージェック)
- S16-P08 横須賀市北部における常時微動観測
前田直樹 (関東学院大理工)・浦谷優樹 (関東学院大院工)
- S16-P09 福岡市東区志賀島—西戸崎間の地盤震動特性
山田伸之 (福岡教育大学)
- S16-P10 微動および地中レーダー探査による鹿野断層の地盤構造の把握
野口竜也・上野太士・香川敬生・西田良平・吉田昌平 (鳥取大)
- S16-P11 鳥取県の強震観測点におけるレシーバー関数による地盤構造の同定
野口竜也 (鳥取大)・西川隼人 (舞鶴高専)・吉田昌平・香川敬生 (鳥取大)
- S16-P12 レシーバ関数を用いた京都盆地の地震基盤深度の推定
下村智也・浅野公之・岩田知孝 (京大防災研)
- S16-P13 和歌山城近傍を横切るP波反射法地震探査
上林宏敏・釜江克宏 (京大原子炉)・山田浩二 (阪神コンサル)・岩田知孝 (京大防災研)

S18. 地震教育・地震学史

- S18-P01 高校生の地震研究を学校防災アドバイザーで活用する試み
岡本拓夫 (福井高専)・齊川清一 (福井県教育研)
- S18-P02 地球物理学者による社会貢献の一形態～国土科学と住み込み研究～
林能成 (関西大社会安全)
- S18-P03 埼玉県春日部市に残る1923年関東地震の記録
荒井賢一・小林優介・竹原輝・高木駿・山浦照良・安倍聡志・北廣創史 (栄東中学・高校)

S21.2016 年熊本地震および関連する地殻活動

- S21-P01 経験的グリーン関数法による 2016 年熊本地震の本震および前震の震源モデル
芝良昭 (電中研)
- S21-P02 経験的グリーン関数法に基づく熊本地震の強震動生成域の推定
佐藤智美 (清水建設)
- S21-P03 強震波形を用いた 2016 年熊本地震の震源過程解析 ～ M6 以上の 3 地震の解析結果～
引間和人 (東京電力 HD)
- S21-P04 2016 年熊本地震の動的破壊伝播シミュレーション
浦田優美・吉田圭佑・福山英一 (防災科研)
- S21-P05 2016 年熊本地震での益城町の強い断層平行地動について
宮武隆 (東大地震研)
- S21-P06 経験的グリーン関数法を用いた 2016 年熊本地震の地震動シミュレーション
染井一寛・宮腰研・吉田邦一 (地盤研)
- S21-P07 臨時・定常強震観測点を用いた 2016 年熊本地震の広帯域地震動シミュレーション
三宅弘恵 (東大)・地元孝輔・山中浩明 (東工大)・津野靖士・是永将宏 (鉄道総研)
山田伸之 (福教大)・松島健 (九大)・宮川幸治 (東大)
- S21-P08 減衰構造を取り入れた揺れから揺れの即時予測の試み：2016 年熊本地震
小木曾仁・干場充之 (気象研)・志藤あずさ・松本聡 (九大地震火山セ)
- S21-P09 2016 年熊本地震の地表地震断層の近傍における建物被害調査 (その 2)
金田惇平・久田嘉章・寺本彩乃 (工学院大学)
- S21-P10 空中写真判読による熊本地震前震の益城町の建物被害推定
中村洋光・門馬直一・藤原広行・佐伯琢磨 (防災科研)
- S21-P11 2016 年熊本地震における益城町での被害メカニズムの解明：その 1 建物被害調査
山田真澄・Jim Mori・坂上啓 (京大防災研)・林田拓己 (建研)
山田雅行・羽田浩二・藤野義範・深津宗祐・西原栄子・大内徹・藤井章男 (ニュージェック)
- S21-P12 2016 年熊本地震における益城町での被害メカニズムの解明：その 2 常時微動観測結果
山田雅行 (ニュージェック)・山田真澄・Jim Mori・坂上啓 (京都大)・林田拓己 (建研)
羽田浩二・藤野義範・深津宗祐・西原栄子・大内徹・藤井章男 (ニュージェック)
- S21-P13 2016 年熊本地震における益城町での被害メカニズムの解明：その 3 余震観測
林田拓己 (建研)・山田真澄・Jim Mori・坂上啓 (京都大)
山田雅行・羽田浩二・藤野義範・深津宗祐・西原栄子・大内徹・藤井章男 (ニュージェック)
- S21-P14 熊本地震における地表断層ごく近傍の強震動調査 (その 1：南阿蘇村河陽地区)
はお憲生・内藤昌平 (防災科研)・吾妻崇 (産総研)
- S21-P15 熊本地震における地表断層ごく近傍の強震動調査 (その 2：益城地区)
内藤昌平・はお憲生 (防災科研)・吾妻崇 (産総研)
- S21-P16 2016 年熊本地震で被災した益城町中心部における南北測線の微動特性
香川敬生・上野太士・吉田昌平 (鳥取大院工)
- S21-P17 KiK-net 益城サイトの非線形地盤応答特性
後藤浩之 (京大防災研)・秦吉弥 (阪大工)・吉見雅行 (産総研)・吉田望 (東北学大工)
- S21-P18 2016 年熊本地震の被害地域における臨時強震観測の余震記録の分析
地元孝輔・山中浩明 (東工大)・津野靖士・是永将宏・岡本京祐 (鉄道総研)
三宅弘恵 (東大)・山田伸之 (福教大)
- S21-P19 熊本平野南北測線での 2016 年熊本地震の余震観測と地震動特性評価
是永将宏・津野靖士・岡本京祐 (鉄道総研)・山中浩明・地元孝輔 (東工大総合理)・松島健 (九大島原)
- S21-P20 平成 28 年 (2016 年) 熊本地震に伴う阿蘇谷北西部における亀裂の分布と成因 ―特異な地震波形記録との関連―
土井一生・釜井俊孝 (京大防災研)・村尾英彦 (村尾地研)・久保久彦 (防災科研)

- S21-P21 平成 28 年熊本地震の液状化被害
先名重樹 (防災科研)・若松加寿江 (関東学院大学)・小澤京子・藤原広行 (防災科研)
- S21-P22 2016 年熊本地震の際に観測された長周期地震動と石油タンクのスロッシング
畑山健・西晴樹・徳武皓也 (消防研)・座間信作 (横国大)
- S21-P23 2016 年熊本地震の断層ごく近傍長周期地震動
古村孝志 (東大地震研)
- S21-P24 Effect of radiation pattern on long-period ground motion intensity from the 2016, Mw 7.1 Kumamoto earthquake
Yadab P. Dhakal・Wataru Suzuki・Takeshi Kimura・Takashi Kunugi・Shin Aoi (NIED)
- S21-P25 2016 年熊本地震震源域における稠密余震観測
蔵下英司・酒井慎一・加藤愛太郎・飯高隆・岩崎貴哉・平田直 (東大地震研)
2016 年熊本地震合同地震観測グループ
- S21-P26 稠密観測データによって再決定された余震分布から推定される平成 28 年 (2016 年) 熊本地震の断層構造
山下裕亮 (京大防災研)・松本聡・中元真美 (九大地震火山セ)・宮崎真大 (京大防災研)
松島健・清水洋 (九大地震火山セ)・飯尾能久 (京大防災研)・2016 年熊本地震合同地震観測グループ
- S21-P27 震源の 4 次元可視化ツール開発 ～熊本地震の理解を深める教育教材として～
庄司真史・小林佑介 (㈱ライブアース)・河合研志 (東大理)
- S21-P28 2016 年熊本地震震源域の 3 次元地震波速度構造
志藤あずさ・松本聡・清水洋 (九大地震火山セ)・2016 年熊本地震合同地震観測グループ
- S21-P29 2016 年熊本地震震源域の P 波と S 波トモグラフィ
山下慧・趙大鵬・豊国源知 (東北大予知セ)
- S21-P30 2016 年熊本地震前後における地震波速度構造変化
上野友岳・齊藤竜彦・澤崎郁・汐見勝彦 (防災科研)
- S21-P31 2016 年熊本地震の活動と静的応力変化
田中佐千子・浅野陽一 (防災科研)
- S21-P32 2016 年熊本地震の前兆的活動 (潮汐相関) の調査
弘瀬冬樹・前田憲二 (気象研)
- S21-P33 ALOS-2 による 2016 年熊本地震に伴う様々な地表変位の詳細な計測
森下遊・藤原智・矢来博司・小林知勝・中埜貴元 (国土地理院)
- S21-P34 ALOS-2 による 2016 年熊本地震に伴う非造構性地表変位の詳細 - 主に阿蘇谷での変位 -
藤原智・森下遊・矢来博司・小林知勝・中埜貴元 (国土地理院)
- S21-P35 SAR ピクセルオフセット解析で見る 2016 年熊本地震に伴う大規模変位
小林知勝 (国土地理院)
- S21-P36 2016 年熊本地震に伴う地表地震断層とその特徴
白濱吉起・吉見雅行・栗田泰夫・丸山正・吾妻崇・宮下由香里 (AIST)・森宏 (信州大)
今西和俊・武田直人・落唯史・大坪誠・朝比奈大輔・宮川歩夢 (AIST)
- S21-P37 2016 年熊本地震の余効変動
矢来博司・小林知勝・川元智司・宗包浩志 (国土地理院)
- S21-P38 1 Hz キネマティック GNSS 解析にもとづく 2016 年熊本地震による動的ひずみ場の特徴
太田雄策 (東北大院理)・大園真子・高橋浩晃 (北大院理)・日野亮太 (東北大院理)
- S21-P39 744 年天平肥後地震と 869 年貞観肥後風水災について
石橋克彦 (神戸大名誉教授)・原田智也 (東大地震研)
- S21-P40 陸海統合 3 次元構造モデルにもとづく 2016 年薩摩半島西方沖地震のシミュレーション
岡元太郎 (東工大)・竹中博士 (岡山大)・中村武史 (防災科技研)